

新居小学校他 1 校プール施設改修工事

特記	工事名 新居小学校他 1 校プール施設改修工事			承認 管理建築士 印
	図名 表紙	縮尺 —	図面番号 —	
	図面提出日			

新居小学校

図面リスト

No.	図面名称	No.	図面名称
A-00	図面リスト	M-01	特記仕様書
A-01	特記仕様書 1	M-02	図示記号・衛生器具表
A-02	特記仕様書 2	M-03	平面詳細図① 給排水衛生設備
A-03	特記仕様書 3	M-04	平面詳細図② 給排水衛生設備
A-04	配置図兼仮設計画図・付近見取図		
A-05	平面図		
A-06	平面詳細図・立面図 1		
A-07	平面詳細図・立面図 2		
A-08	断面詳細図		
A-09	テント改修図・控え壁断面詳細図		

特記	工事名 新居小学校他1校プール施設改修工事			承認		管理建築士	印
	図名 (新居小学校) 図面リスト	積尺 NS	図面番号 A-00	図面提出日			

工事特記仕様書(改修)

Table with 2 columns: Item (I, II, III), Details (Project Name, Location, Content, etc.)

- III. 建築改修工事仕様
1. 共通仕様
2. 特記仕様

Main specification table with columns: Chapter, Item, Particular Items, and detailed notes for various construction aspects.

Table with 2 columns: Item No. (1.1 to 2.7), Description of requirements and standards.

Table with 2 columns: Item No. (2.8 to 2.10), Description of safety and construction requirements.

Project information form including project name, location, scale, and drawing number.

4 外壁改修工事

1 施工数量調査

調査範囲 ・ 全面 ・ ()
 調査項目 ・ ひび割れ部 (・ 幅0.2mm ・ 0.2mm~1.0mm ・ 1.0mm以上)
 ・ はがれ及びはく落部分
 ・ 浮き部
 調査方法 ・ 打診、目視及びクラックスケール等 (・ 足場 ・ ゴンドラ)
 報告書 2部 (立面図等に記載、必要に応じて写真添付)

2 改修工法の種類 (4.1.4) (4.1.5)

外壁	種類	改修工法
コンクリート打放し仕上げ外壁	ひび割れ部	・ 樹脂注入工法 ・ Uカットシール材充填工法 ・ シール工法
	欠損部	・ 充填工法
モルタル塗り仕上げ外壁	ひび割れ部	・ 樹脂注入工法 ・ Uカットシール材充填工法 ・ シール工法
	欠損部	・ 充填工法 ・ モルタル塗替え工法
浮き部	・ アンカーピンニング ・ 部分エポキシ樹脂注入工法 ・ 全面エポキシ樹脂注入工法 ・ 全面ポリマーセメントスラリー注入工法	・ 注入口付アンカーピンニング ・ 部分エポキシ樹脂注入工法 ・ 全面エポキシ樹脂注入工法 ・ 全面ポリマーセメントスラリー注入工法 ・ 充填工法 ・ モルタル塗替え工法
	・ アンカーピンニング ・ 部分エポキシ樹脂注入工法 ・ 全面エポキシ樹脂注入工法 ・ 全面ポリマーセメントスラリー注入工法	・ 注入口付アンカーピンニング ・ 部分エポキシ樹脂注入工法 ・ 全面エポキシ樹脂注入工法 ・ 全面ポリマーセメントスラリー注入工法 ・ エポキシ樹脂注入タイル固定工法 ・ タイル部分張替え工法 ・ タイル張替え工法
タイル張り仕上げ外壁	ひび割れ部	・ 樹脂注入工法 ・ Uカットシール材充填工法
	欠損部	・ タイル部分張替え工法 ・ タイル張替え工法
	浮き部	・ アンカーピンニング ・ 部分エポキシ樹脂注入工法 ・ 全面エポキシ樹脂注入工法 ・ 全面ポリマーセメントスラリー注入工法 ・ 注入口付アンカーピンニング ・ 部分エポキシ樹脂注入工法 ・ 全面エポキシ樹脂注入工法 ・ 全面ポリマーセメントスラリー注入工法 ・ エポキシ樹脂注入タイル固定工法 ・ タイル部分張替え工法 ・ タイル張替え工法
目地	・ 目地ひび割れ部改修工法 ・ 伸縮目地改修工法	
	目地	・ 薄付仕上げ塗材塗り ・ 厚付仕上げ塗材塗り ・ 複層仕上げ塗材塗り ・ 可とう形改修用仕上げ塗材塗り ・ 各種塗料塗り ・ マスチック塗材塗り

3 改修工法等 (4.2.2) (a) (4.3.4) (4.4.5) (4.5.5)

・ 樹脂注入工法
 種類 ・ 自動式低圧エポキシ樹脂注入工法
 ・ 注入量 () 注入間隔 ()
 ・ 手動式エポキシ樹脂注入工法
 ・ 注入量 () 注入間隔 ()
 ・ 機械式エポキシ樹脂注入工法
 ・ 注入量 () 注入間隔 ()
 材料 エポキシ樹脂 JIS A6024 (建築補修用注入エポキシ樹脂)
 ・ 低粘度形 ・ 中粘度形
 コア抜き検査 ・ 行う ・ 行わない
 ・ 抜き回数 ()
 ・ 抜き部分補修方法 ()

(4.2.2) (b) (4.3.5) (4.4.6) (4.5.6)
 ・ Uカットシール材充填工法
 材料 ・ シーリング用材充填
 (・ PU-1 ・ PU-2 ・ ())
 ・ 可とう性エポキシ樹脂充填
 シーリング材の上にポリマーセメントモルタル充填
 ・ 行う ・ 行わない

(4.2.2) (c) (4.3.6) (4.4.7)
 ・ シール工法
 材料 ・ パテ状エポキシ樹脂
 ・ 可とう性エポキシ樹脂

(4.2.2) (d) (4.3.7) (4.4.8)
 ・ 充填工法
 材料 ・ エポキシ樹脂モルタル
 ・ ポリマーセメントモルタル

(4.2.2) (e) (4.4.9)
 ・ モルタル塗替え工法
 材料 ・ 既製目地材の適用及び形状 ()
 仕上げ厚 ()

(4.2.2) (f) (4.4.10) (図4.4.1)
 ・ アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法
 アンカーピン数の標準 ()
 材料 ・ ステンレス鋼 (SUS304) ・ ()

(4.2.2) (g) (4.4.11) (図4.4.2)
 ・ アンカーピンニング全面エポキシ樹脂注入工法
 アンカーピン数の標準 ()
 材料 ・ ステンレス鋼 (SUS304) ・ ()

(4.2.2) (h) (4.4.12) (図4.4.2)
 ・ アンカーピンニング全面ポリマーセメントスラリー注入工法
 アンカーピン数の標準 ()
 材料 ・ ステンレス鋼 (SUS304) ・ ()

(4.2.2) (i) (4.4.13) (図4.4.3)
 ・ 注入口付アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法
 注入口付アンカーピンの標準 ()
 材料 ・ ステンレス鋼 (SUS304) ・ ()
 呼び径 ・ 6mm ・ ()

(4.2.2) (j) (4.4.14) (図4.4.4)
 ・ 注入口付アンカーピンニング全面エポキシ樹脂注入工法
 注入口付アンカーピンの標準 ()
 材料 ・ ステンレス鋼 (SUS304) ・ ()
 呼び径 ・ 6mm ・ ()

(4.2.2) (k) (4.4.15) (図4.4.4)
 ・ 注入口付アンカーピンニング全面ポリマーセメントスラリー注入工法
 注入口付アンカーピンの標準 ()
 材料 ・ ポリマーセメントスラリー ()
 ・ 注入口付アンカーピン (・ ステンレス鋼 (SUS304) ・ ())
 呼び径 ・ 6mm ・ ()

(4.2.2) (l) (4.5.7)
 ・ タイル部分張替え工法
 材料 ・ ポリマーセメントモルタル

・ 密着シリコン樹脂、エポキシ樹脂、ポリウレタン樹脂

施工箇所	形状寸法	工法	用途による区分			役物	標準・特注色	耐凍害性有無
			I類(磁器)	II類(せつ質)	III類(陶器)			
・ 建物 (・ 一体成形 ・ 接着加工) ・ 試験張り ・ 行う ・ 行わない ・ 見本焼き ・ 行う ・ 行わない								

(4.2.2) (m) (4.5.8) (表4.5.4)
 ・ タイル張替え工法

タイルの種類	タイルの大きさ	工法	張り厚(mm)	
			標準	特注
・ 外装 タイル	小口以上二丁掛け以下	・ 密着張り	5~8	
		・ 改良積み上げ張り	4~7	
・ ユニットタイル	・ 25mm角を越え小口未満 ・ 小口未満	・ 改良圧着張り	下地側 4~6 タイル側 3~4	
		・ マスク張り ・ モザイクタイル貼り	3~4 3~5	

(4.5.15)
 ・ 注入口付アンカーピンニングエポキシ樹脂注入タイル固定工法
 注入口付アンカーピンの本数 (本)

(4.2.2) (n) (4.5.16)
 ・ 目地ひび割れ部改修工法
 ・ 伸縮調整目地改修工法
 伸縮調整目地
 (位置 寸法 ×)
 検査 シーリング接着性試験
 ・ 行う (・ 簡易接着性試験 ・ 引張接着性試験)

4 塗り仕上げ (4.2.2) (j) (表4.2.4(その1) (その2))

種類	呼び名	仕上げ形状	工法	
薄付仕上げ塗材	・ 外装薄塗材E	・ 砂壁状 ・ ゆず肌状	吹付け	
		・ 平たん状 ・ 凹凸状	こて	
厚付け仕上げ塗材	・ 外装厚塗材C	・ ゆず肌状 ・ さざ波状	ローラー	
		・ 着色骨材砂壁状	吹付け こて	
		・ 吹放し ・ 凸部処理	吹付け	
		・ 平たん状 ・ 凹凸状 ・ ひき起し ・ 掻き落とし	こて	
複層仕上げ塗材	・ 外装厚塗材SI ・ 外装厚塗材E	・ 吹放し ・ 凸部処理	吹付け	
		・ 平たん状 ・ 凹凸状 ・ ひき起し	こて ローラー	
		・ () ・ () ・ ()	() () ()	
		・ 復層塗材E ・ 復層塗材RE	・ ゆず肌状 ・ 凸部処理	ローラー 吹付け
可とう形改修用仕上げ塗材	・ 防水形復層塗材E ・ 防水形復層塗材RE	・ () ・ () ・ ()	() () ()	
		・ 可とう形改修塗材E ・ 可とう形改修塗材RE	・ 平たん状 ・ さざ波状	ローラー
		・ 可とう形改修塗材OE	・ ゆず肌状	吹付け

・ 外装厚塗材Cの上塗材がセメントスタッコ以外の場合
 材所要量 (kg/m2)

(4.7.2) (表4.7.1)
 ・ マスチック塗材塗り ・ A種 ・ B種
 仕上材塗り ()

(表4.2.5)

樹脂種類	溶媒種類	外 観
・ アクリル系	・ 溶剤系 ・ 弱溶剤系 ・ 水系	・ 艶有 ・ 艶無 ・ メタリック
・ シリカ系	・ 水系	・ 艶有 ・ 艶無
・ ポリウレタン系	・ 溶剤系 ・ 弱溶剤系 ・ 水系	・ 艶有 ・ 艶無 ・ メタリック
○ アクリルシリコン系	・ 溶剤系 ・ 弱溶剤系 ○ 水系	・ 艶有 ・ 艶無 ・ メタリック
・ ふっ素系	・ 溶剤系 ・ 弱溶剤系 ・ 水系	・ 艶有 ・ 艶無 ・ メタリック

(注) 艶無及びメタリックは、可とう形復層塗材、防水形復層塗材、及び可とう形改修塗材には適用しない。

(4.6.3) 既存塗膜等の除去及び下地処理

工法	処理範囲
・ サンダー工法	
・ 高圧水洗工法	
・ 塗膜はく離剤工法	
・ 水洗い工法	
・ デッキブラシ	
○ 高圧ポンプ	

(4.6.4) 下地調整

・ C-1 ・ C-2 ・ CM-2 ・ E ・ ()

①4 モルタル塗り (6.15.3)

既製目地材 ・ 使用する (形状 :)
 床の目地 ・ 図示 (立面番号 :)

①5 タイル張り (6.16.2) (6.16.3)

伸縮調整目地
 位置 ・ 図示 (立面番号 :)

タイルの種類

施工箇所	形状寸法	工法	用途による区分	すべり抵抗性	区分			役物	標準・特注色	耐凍害性有無
					I類(磁器)	II類(せつ質)	III類(陶器)			
手洗いシンク	25角				○			○		○

(6.16.3) (b) (i)

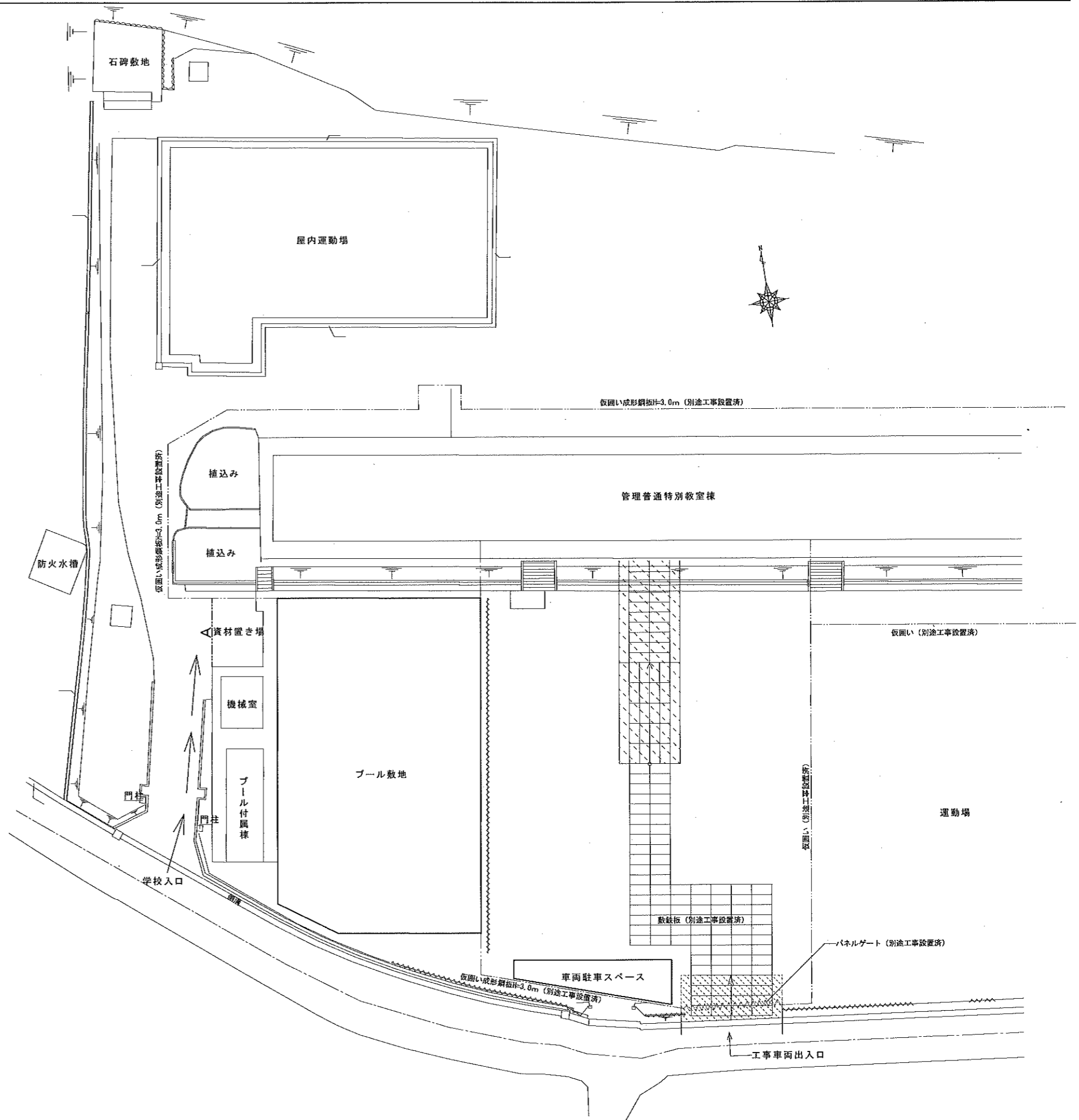
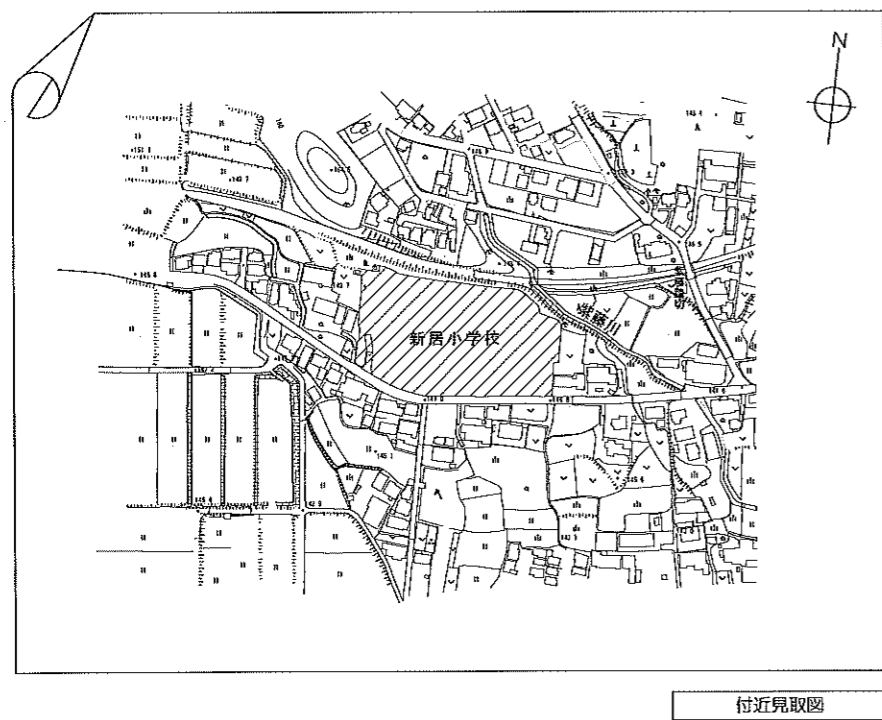
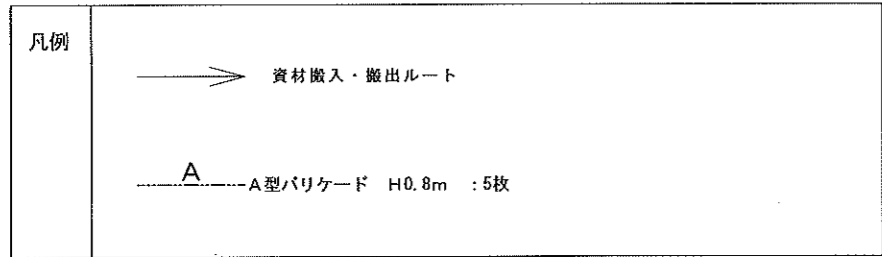
試験張り ・ 行う ・ 行わない
 見本焼き ・ 行う ・ 行わない

7 塗装 改修 工事	1 材料 (7.1.3) (b)	・ 壁内の壁、天井仕上げは防火材料とする。 ・ 次の箇所を除き防火材料とする。(箇所:)
	2 下地調整 (7.2.1~7.2.7) (表7.2.1)~ (表7.2.7)	既存塗膜の除去範囲(塗り替えてR/B種の場合) ・ 図示(図面番号:)
	3 錆止め塗料塗り (7.3.2) (7.3.3) (表7.3.3)~ (表7.3.4)	錆止め塗料種別 ・ 亜鉛めっき鋼面 ・ A種 ・ B種 ・ C種 錆止め塗料塗り種別 鉄鋼面 ・ A種 ・ B種 ・ C種 亜鉛めっき鋼面 ・ A種 ・ B種 ・ C種
	4 合成樹脂適合ペ イント塗り(SOP) (7.4.2) (7.4.3~7.4.5) (表7.4.1)~ (表7.4.3)	塗料種別 ・ 1種 ・ () 種別 下地 ・ 木部 ・ A種 ・ B種 ・ C種 ・ 鉄鋼面 ・ A種 ・ B種 ・ C種 ・ 亜鉛めっき鋼面 ・ A種 ・ B種 ・ C種
	5 クリヤラッカー 塗り(CL) (7.5.2) (表7.5.1)	種別 木部 ・ A種 ・ B種
	6 アクリル樹脂系 非水分散形塗料 (RAD) (7.7.2) (表7.7.1)	種別 ・ A種 ・ B種
	7 耐水性塗料塗り (DP) (7.8.2)~ (7.8.4) (表7.8.1)~ (表7.8.3)	上塗り等級 ・ 1級(フッ素系) ・ 2級(シリコン系) ・ 3級(ポリウレタン系) 種別 下地 鉄鋼面 ・ A種 ・ B種 ・ C種 亜鉛めっき鋼面 ・ A種 ・ B種 ・ C種 コンクリート面及び 押出成形セメント板面 ・ A-1種 ・ A-2種 ・ B-1種 ・ B-2種 ・ C-1種 ・ C-2種
	8 つや有合成樹脂 エマルジョンペ イント塗り (EP-0) (7.9.2)~(7.9.5) (表7.9.1)~ (表7.9.4)	種別 下地 コンクリート、モルタル、 プaster、せっこうボード、 その他ボード面 ・ A種 ・ B種 ・ C種 しみ止め () 木部(屋内) ・ A種 ・ B種 ・ C種 鉄鋼面(屋内) ・ A種 ・ B種 ・ C種 亜鉛めっき鋼面(屋内) ・ A種 ・ B種 ・ C種
	9 合成樹脂エマ ルジョンペイン ト塗り(EP) (7.10.2) (表7.10.1)	種別 ・ A種 ・ B種 ・ C種 しみ止め ()
	10 合成樹脂エマ ルジョン模様 塗料塗り (EP-1) (7.11.2) (表7.11.1)	種別 ・ A種 ・ B種 ・ C種
	11 ウレタン樹脂 ワニス塗り(UO) (7.12.2) (表7.12.1)	種別 ・ A種 ・ B種
	12 ラッカーエナ メル塗り(LE) (7.13.2) (表7.13.1)	種別 ・ A種 ・ B種
	13 木造保護塗料 塗り(OP) (7.15.2) (表7.15.1)	種別 ・ A種 ・ B種

8 の 5 耐 震 改 修 工 事 あ と 施 工 ア ン カ ー 工 事	(あと施工アンカー) ① あと施工アンカー の材料 (8.2.4) (表8.2.2)	種類 ① 金属系 セットの方式 ② 本体打込み式 (・ 改良型 ③ 従来型) 径及び埋込み深さ ・ 図示 (図面番号:) 引張耐力 ・ 図示 (図面番号:) せん断耐力 ・ 図示 (図面番号:) 接合部の種類・径・長さ ③ 図示 (図面番号:) ・ 接着系 カプセル型回転 ・ 打撃式 ・ 有銀系 ・ 無銀系 径及び埋込み深さ ・ 図示 (図面番号:) 引張耐力 ・ 図示 (図面番号:) せん断耐力 ・ 図示 (図面番号:) アンカー筋の種類 ・ 図示 (図面番号:) アンカー筋の新設壁内への定着長さ ・ 図示 (図面番号:) あと施工アンカーの性能確認試験 ・ 行う ・ 行わない ② 補強鉄筋と溶接接合する。 穿孔 埋込み配管等の探索の方法 ③ 鉄筋探知機(金属探知機)により検査し、鉄筋、配管類の位置に墨出しを行う。 ・ はつり出しによる。 ・ () あと施工アンカーの施工確認試験 ③ 実施する ・ 実施しない 確認試験方法 ④ 改修標準仕様書(8.12.5)による ・ () 確認強度 ・ () ⑤ ブロック鉄筋と溶接接合すること 場所打ちコンクリ ート壁の増設工事) 3 シアコネクタ 種類 ・ 金属系あと施工アンカーの異形差筋アンカー ・ 接着系あと施工アンカーの異形差筋アンカー 径[mm] ・ D10 長さ[mm] ・ 増打壁厚-40 ・ () 埋込み深さ[mm] ・ 5d (d: シアコネクタの径)以上 ・ () 間隔[mm] ・ 500×500 シアコネクタとセパレーターの兼用 ・ 兼用してもよい ・ 兼用しない ・ ()
	(場所打ちコンクリ ート壁の増設工事) 3 シアコネクタ	※ 空洞 ブロック 16 ・ 空洞 ブロック 16-W (8.2.2) ※ 表 8.3.1 及び下表による (8.3.2)
9 建 築 用 コ ン ク リ ー ト ブ ロ ッ ク	補強コンクリ ートブロック 帳壁及び扉 (8.2.2) ※ 表 8.3.1 及び下表による (8.3.2)	適用箇所 厚さ (mm) 種別の記号 ① 間仕切壁、地下二重壁、外壁、扉 図示 空洞ブロック 16 ・ 設備配管用ブロック積み 100 空洞ブロック 08
10 鉄 筋 工 事	鉄筋工事 標準仕様は、① 公共建築工事標準仕様書(建築工事編)(社団法人公共建築協会) ② 建築工事標準仕様書・同解説 JASS5 ・ 鉄筋はJIS G 3112の規格品を標準とする。 ・ 鉄筋の加工寸法、形状、かぶり厚さ、鉄筋の継手位置、継手の重ね長さ 定着長さは設計図書による。 外観検査 ① 有 ・ 無 引張試験 ・ 有 ① 無 超音波深傷試験 ・ 有 ① 無	
11 コ ン ク リ ー ト 工 事	(1) コンクリート 標準仕様は、① 公共建築工事標準仕様書(建築工事編)(社団法人公共建築協会) ・ 建築工事標準仕様書・同解説 JASS5 ② 耐久設計基準強度F _d は、短期 ① 標準 ・ 長期 ・ 超長期 ③ セメントは、JIS R 5210の普通ポルトランドセメントを標準とする。 ④ 調査計画は、工事開始前に工事監理者の確認を得ること。必要に応じて試験線を行う。 ⑤ フレッシュコンクリートの塩化物測定は、原則として工事現場で (財) 国土開発技術研究センターの技術評価をうけた測定器を用いて行い、 試験結果の記録及び測定器の表示部を1回の測定ごとに撮影した写真(カ ラ)にて報告する。	

① 調査 ※土間コン、捨てコン等m _s n修正不要部を除く		
項目	鉄筋コンクリート	無筋コンクリート
設計基準強度 [N/mm ²]	24以下	18
単位水量 [kg/m ³]	185以下	185以下
単位セメント量 [kg/m ³]	270以上	—
水セメント比 [%]	A種: 65以下、B種: 60以下	—
空気量 [%]	4.5	4.5
塩化物量 [kg/m ³]	0.3以下	—
捨てコンクリート	FC18N/mm ² SL-15	
土間コンクリート	FC21N/mm ² SL-18	
基礎コンクリート	FC24N/mm ² SL-18	
上部コンクリート	FC24N/mm ² SL-18	

- 留意事項—
- ※1) 進入路が狭いので通行に注意すること。
 - ※2) 車両駐車スペースは解体工事業者と綿密な打ち合せをすること。
 - ※3) 校内は最徐行（10km/h以下）にて工事車両等は移動のこと。
 - ※4) 仮設計画や作業員の駐車スペースは発注側と協議の上、決定すること。
 - ※5) 交通誘導員を配置している際は、学校入り口から工事エリア入り口まで交通誘導員が工事車両を誘導すること。
 - ※6) 必要に応じて適切な路面等の養生を行うこと。



特記	工事名	新居小学校他1校プール施設改修工事		承認	管理建築士	甲
	図名	(新居小学校) 配置図兼仮設計画図・付近見取図	縮尺 1/500 (A2) 1/705 (A3)	図面番号	A-04	図面提出日

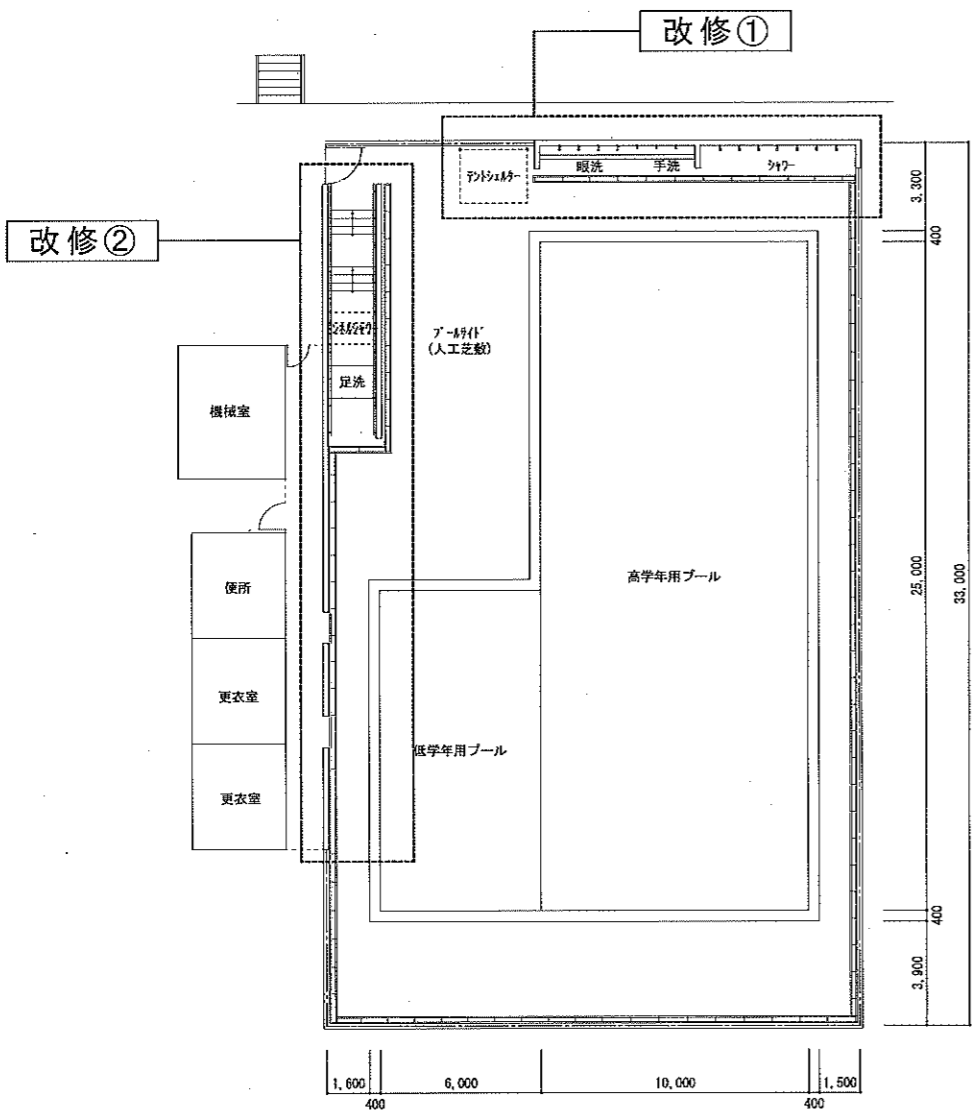
撤去概要

- ・改修範囲内の既存ブロック塀の撤去。
- ・シャワー・手洗い・眼洗い・手摺の撤去。
- ・控え壁の新設に伴う土間コンクリートの撤去。

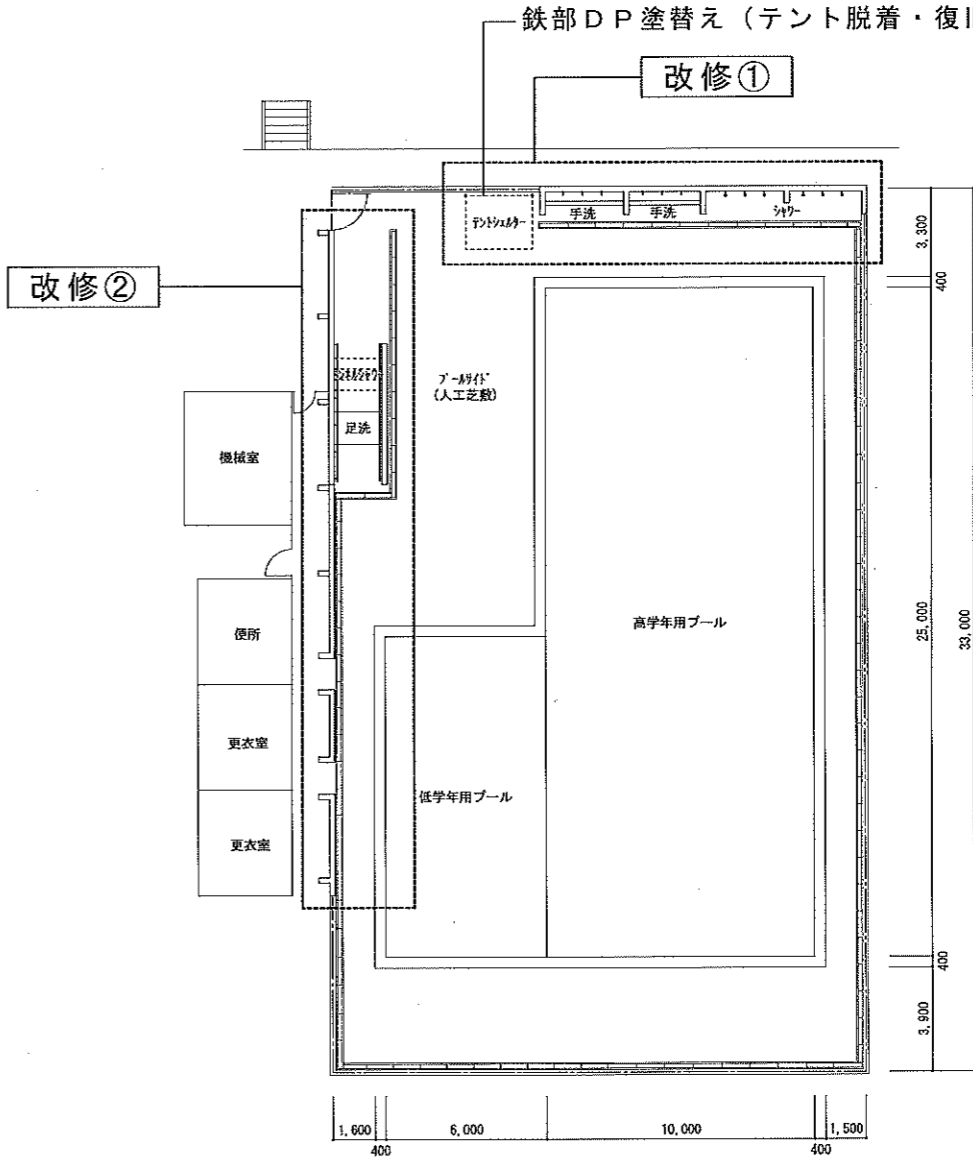
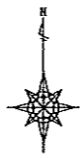
現況 → 改修

改修概要

- ・改修範囲内の既存ブロック塀の新設
- ・シャワー・手洗い・手摺の新設。
- ・控え壁の新設と、それに伴う土間コンクリートの復旧。
- ・腰洗い槽の埋め戻し。
- ・テントシェルター塗り替え



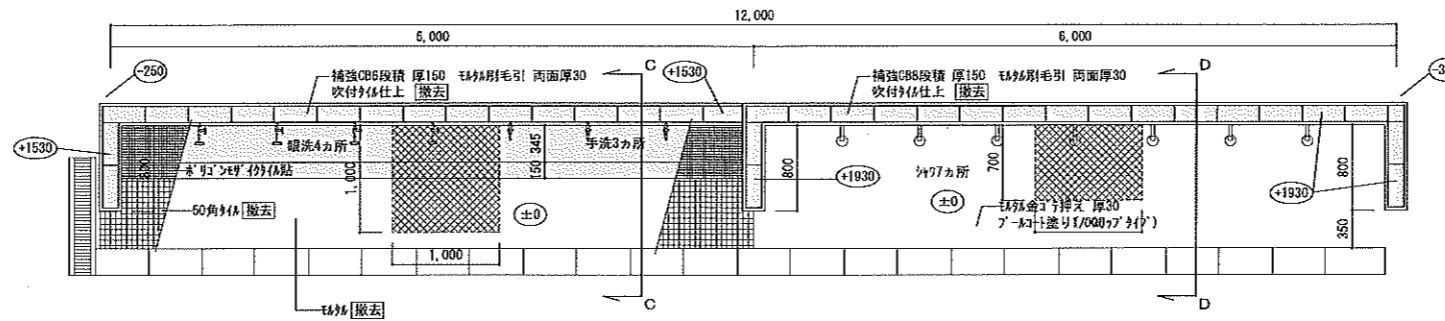
現況平面図 S=1/200



改修平面図 S=1/200

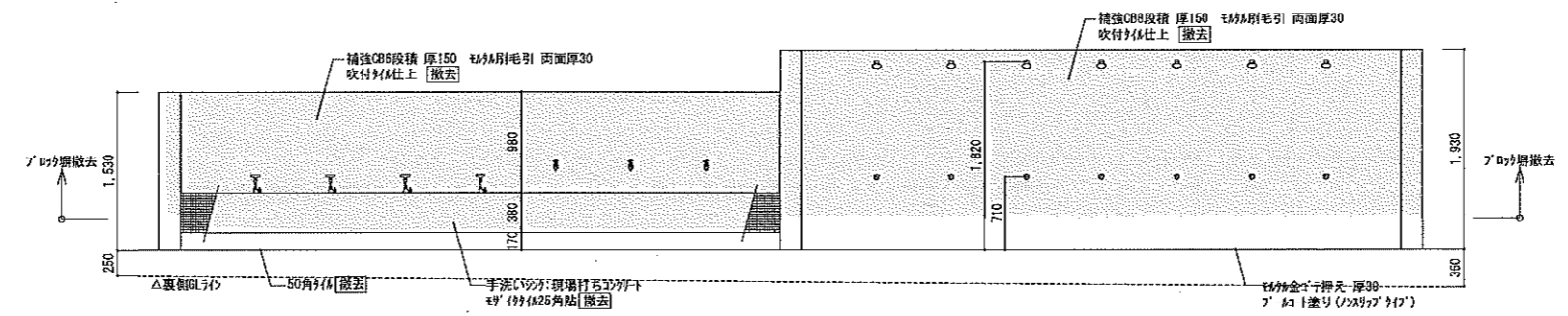
現況 → 改修

特記	工事名 新居小学校他1校プール施設改修工事			米 印		管理建築士	印
	図名 (新居小学校) 平面図	縮尺 1/200 (A2) 1/282 (A3)	図面番号 A-05	図面提出日			



改修① 現況平面詳細図 S = 1 / 50

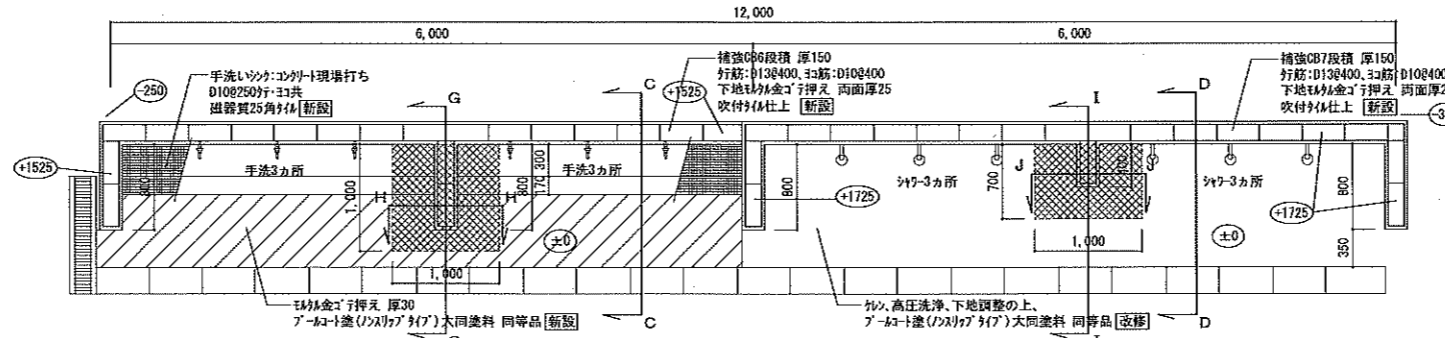
- < 凡例 >
- 撤去範囲を示す。
 - 土間仕上げの上、撤去範囲を示す。
コクリト 厚120
D108200打・3コ共
モルタル 厚30
 - F.L.表記



改修① 現況立面図 S = 1 / 50

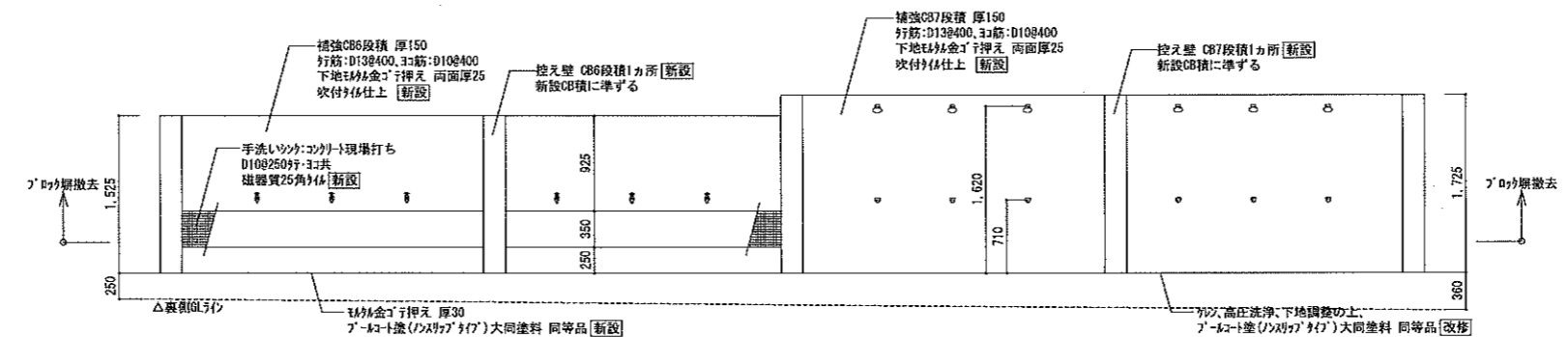
現況
↓
改修

現況
↓
改修



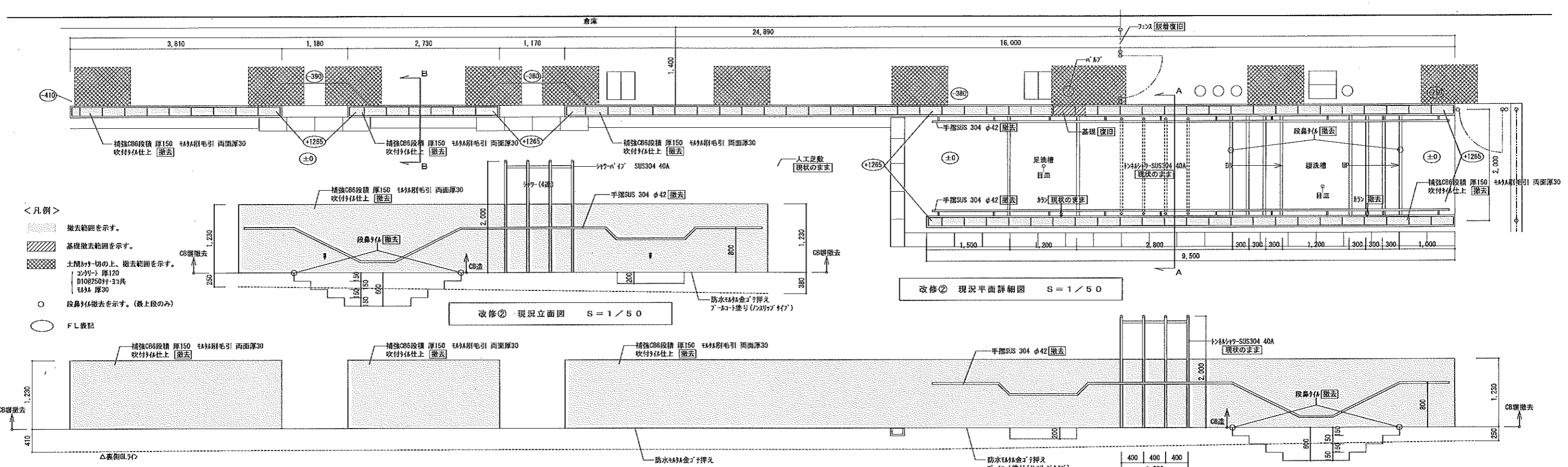
改修① 改修平面詳細図 S = 1 / 50

- < 凡例 >
- モルタル吹付 厚30の上、アーコート塗(ノリカケタイプ) 大同塗料 同等品
 - 土間復旧範囲を示す。
コクリト 厚120
D108250打・3コ共
モルタル 厚30
アーコート塗(ノリカケタイプ):大同塗料 同等品
 - F.L.表記

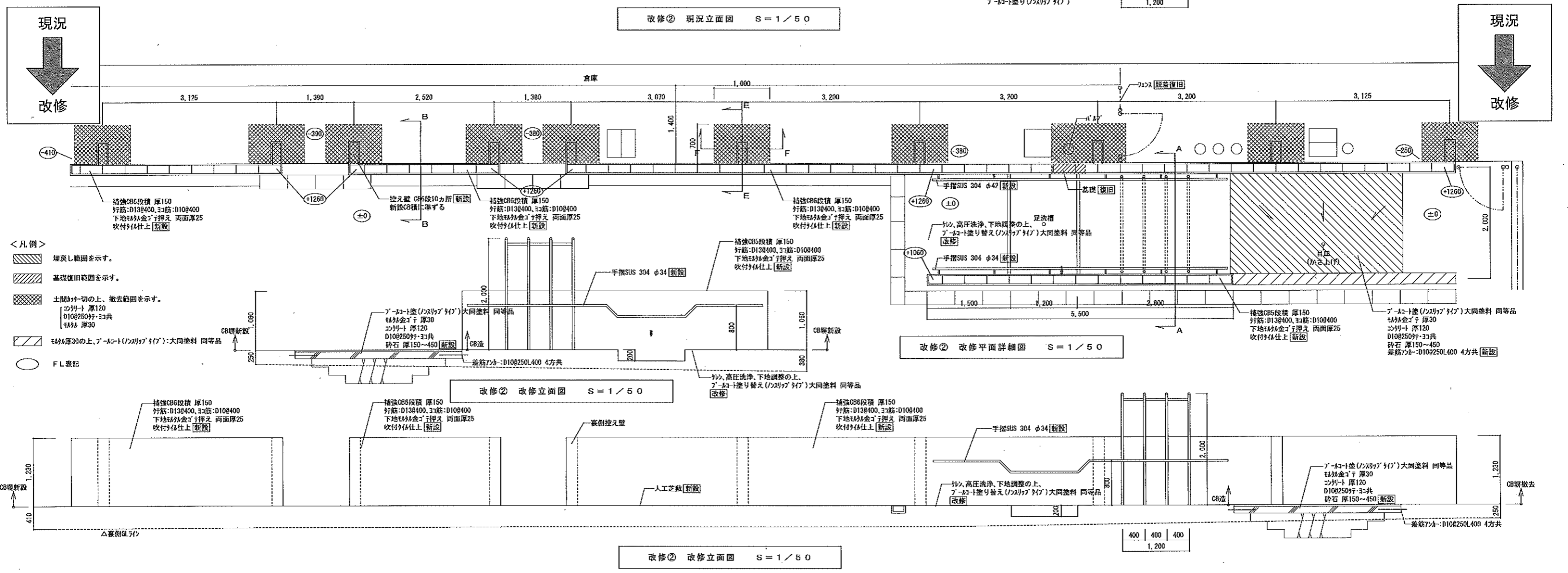


改修① 改修立面図 S = 1 / 50

特記	工事名	新居小学校他1校プール施設改修工事			承認	管理建築士	印
	図名	(新居小学校) 平面詳細図・立面図①	縮尺	1/50 (A2) 1/71 (A3)			
	図面提出日						

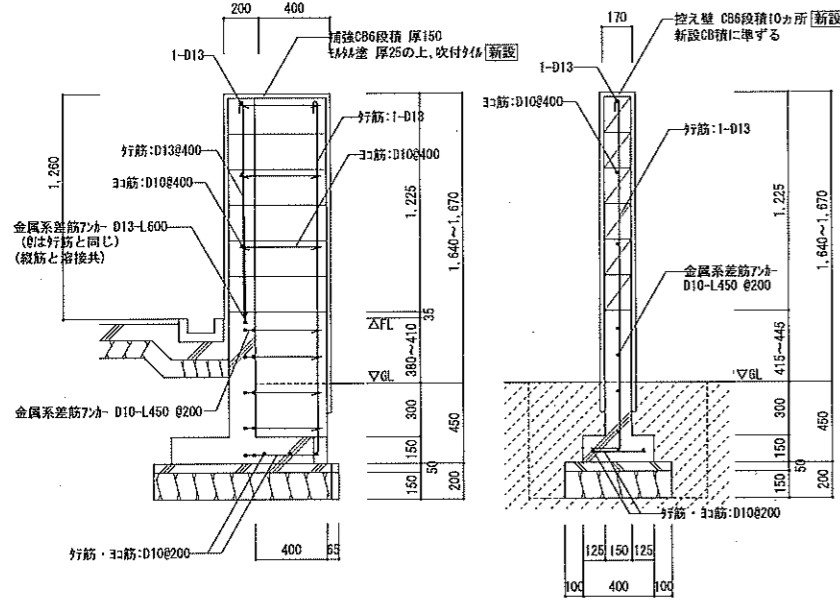


- <凡例>
- 撤去範囲を示す。
 - 基礎撤去範囲を示す。
 - 土間及び一切の上、撤去範囲を示す。
コンクリート厚120
D10@250打・30共
鉄筋厚30
 - 段鼻を撤去を示す。(最上段のみ)
 - FL表記



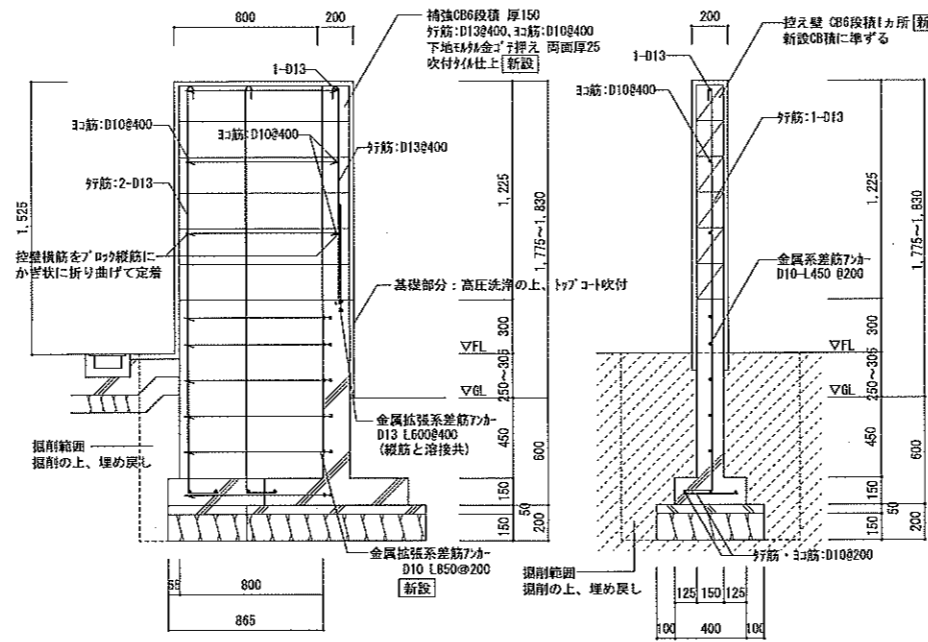
- <凡例>
- 変更し範囲を示す。
 - 基礎撤去範囲を示す。
 - 土間及び一切の上、撤去範囲を示す。
コンクリート厚120
D10@250打・30共
鉄筋厚30
 - 鉄筋厚30の上、アークコート(ノックアップタイプ):大同塗料 同等品
 - FL表記

特記	工事名 新居小学校他1校プール施設改修工事	縮尺 1/50 (A2) 1/71 (A3)	図面番号 A-07	承認	管理建築士	印
	図名 (新居小学校) 平面詳細図・立面図②			承認		
				図面提出日		



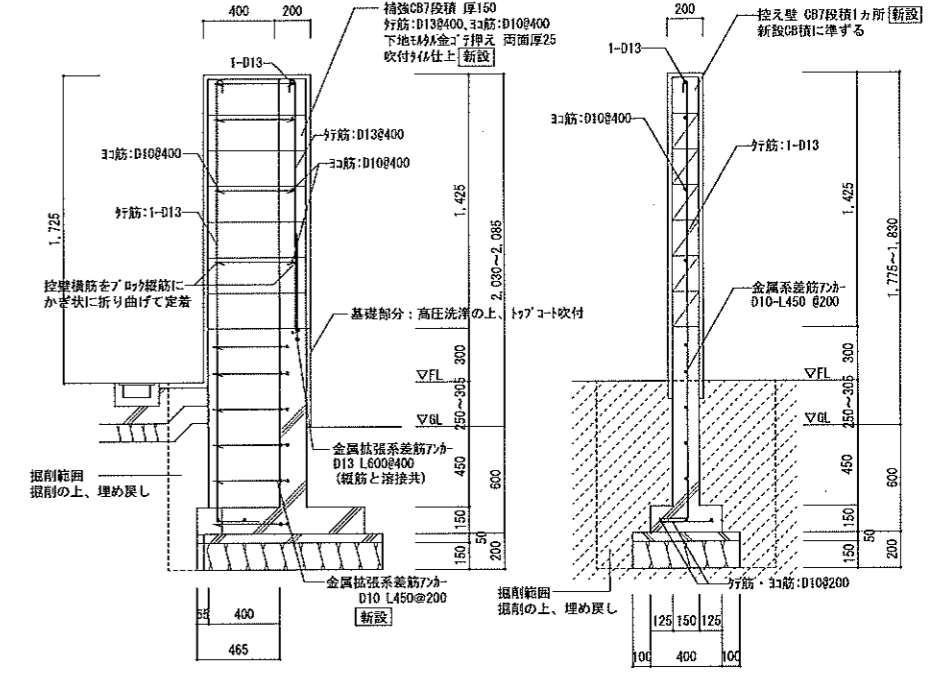
< E断面詳細図 >

新設控え壁詳細図 S = 1 / 30



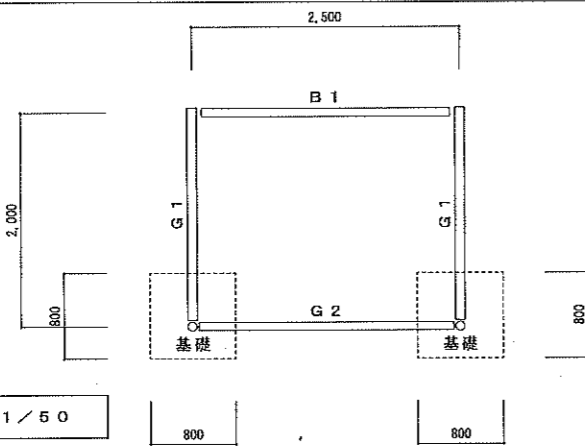
< G断面詳細図 >

新設控え壁詳細図 (手洗い) S = 1 / 30

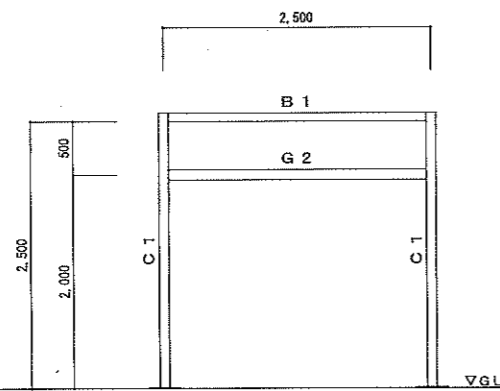


< I断面詳細図 >

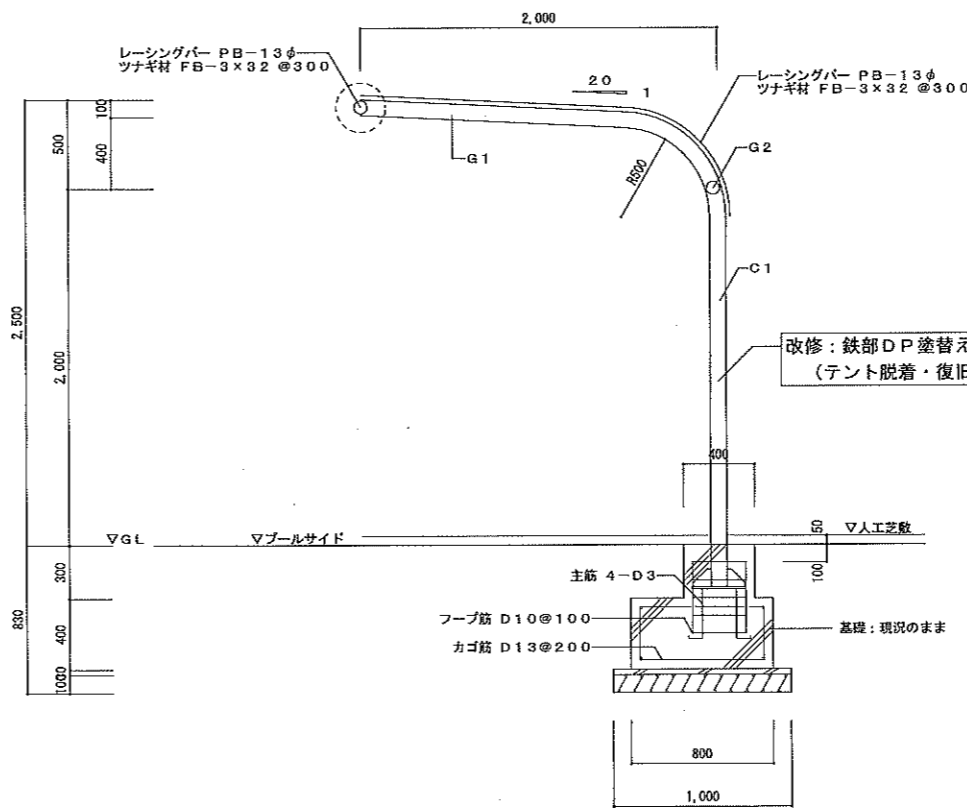
新設控え壁詳細図 (シャワー) S = 1 / 30



テントシェルター平面図 S = 1 / 50



テントシェルター立面図 S = 1 / 50



テントシェルター断面詳細図 S = 1 / 30

メンバーリスト	
C 1	P-89.1 φ × 1.2 t
G 1	P-89.1 φ × 4.2 t
G 2	P-76.3 φ × 4.2 t
B 1	P-76.3 φ × 4.2 t
膜材料	C種 スカイマックス

H 2	※金属拡張系差筋7か-CB積の縦筋は溶接接合すること	工事名	新居小学校他1校プール施設改修工事			承認	管理建築士	甲
		図名	(新居小学校)テント改修図・控え壁断面詳細図	図尺	図示	図面番号	A-09	

図 示 記 号

記 号	名 称
—	給 水 管
—	排 水 管
⊗	給 水 栓
▽ ⊠ ⊗	弁 類
⊖	床 上 掃 除 口
⊙	排 水 金 物

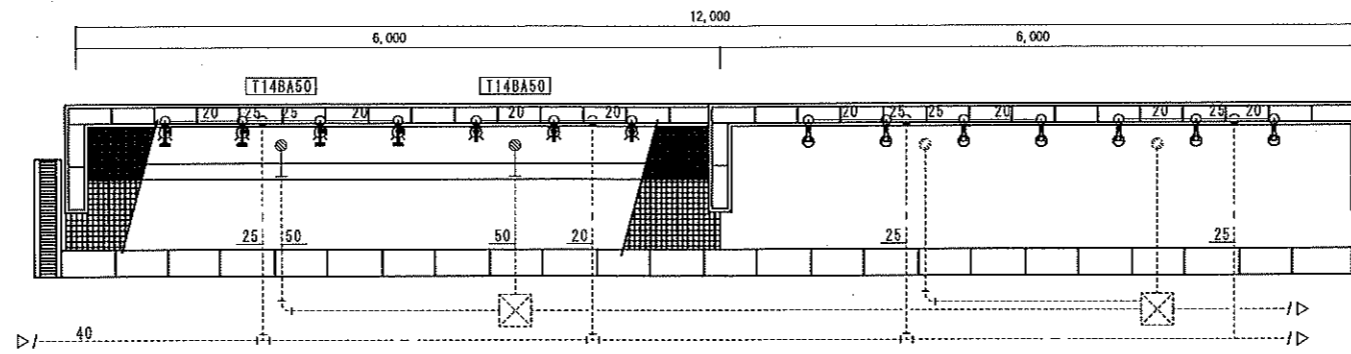
衛 生 器 具 表

名 称	品 番	附 属 品	外 部	合 計
横水栓	LF-7R-13	吐水口回転形	7	7
固定シャワー	BF-4R	BF-2S-13(埋込形止水栓)	6	6
*衛生器具型番は参考とし、監督員の指示(器具の調整等)に従うものとする。				

特 記	工事名 新居小学校他1校プール施設改修工事			承認		管理建築士	印
	図名 (新居小学校) 図示記号・衛生器具表		縮尺 N S	図面番号 M-02			
						図面提出日	

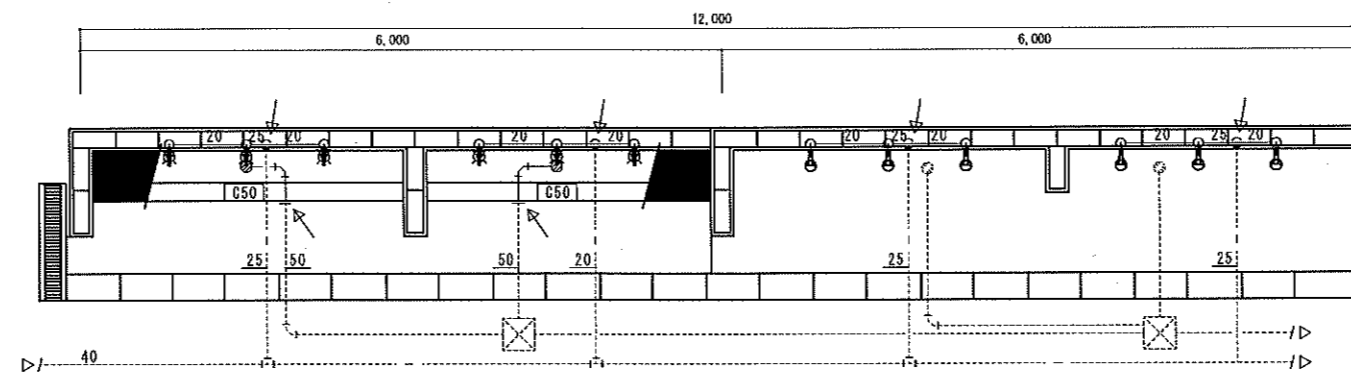
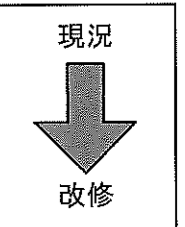
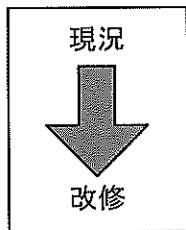
凡例	
——	今回撤去箇所を示す
-----	既存箇所を示す

注記) 既設配管サイズ、ルートは参考とする。
 既設埋設配管、今回工事に支障なきは既存放棄とする。
 (既設管水抜き処理の上、管末プラグ止め)
 土間及びブロックはつり撤去は建築工事とする。



外部 既存機器表			
単水栓		3	撤去
洗眼水栓		4	撤去
シャワー水栓		7	撤去

改修① 現況平面詳細図 S = 1 / 50

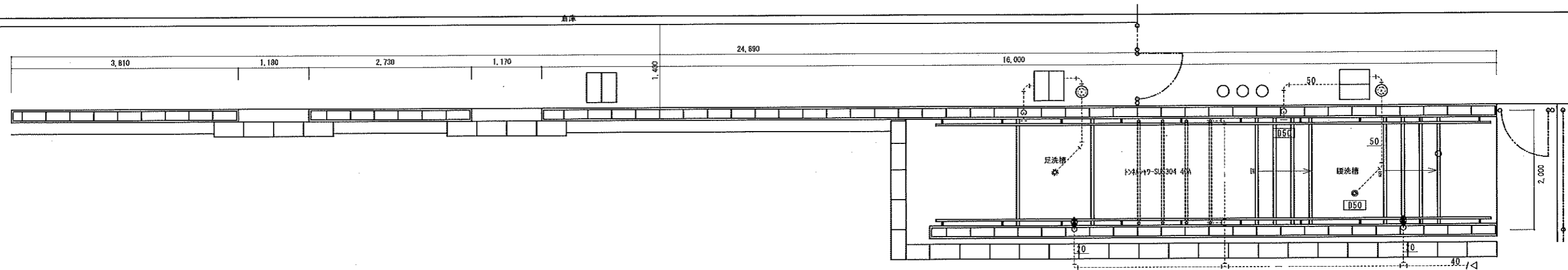


改修① 改修平面詳細図 S = 1 / 50

凡例	
——	今回改修箇所を示す
-----	既存箇所を示す
↗	既設接続箇所を示す

注記) 既設配管サイズ、ルートは参考とする。
 土間及びブロック復旧は建築工事とする。

特記	工事名	新居小学校他1校プール施設改修工事			承認	管理建築士	印
	図名	(新居小学校) 平面詳細図① 給排水衛生設備	縮尺	1/50 (A2) 1/71 (A3)	図面番号	M-03	図面提出日



洗場 既存機器表

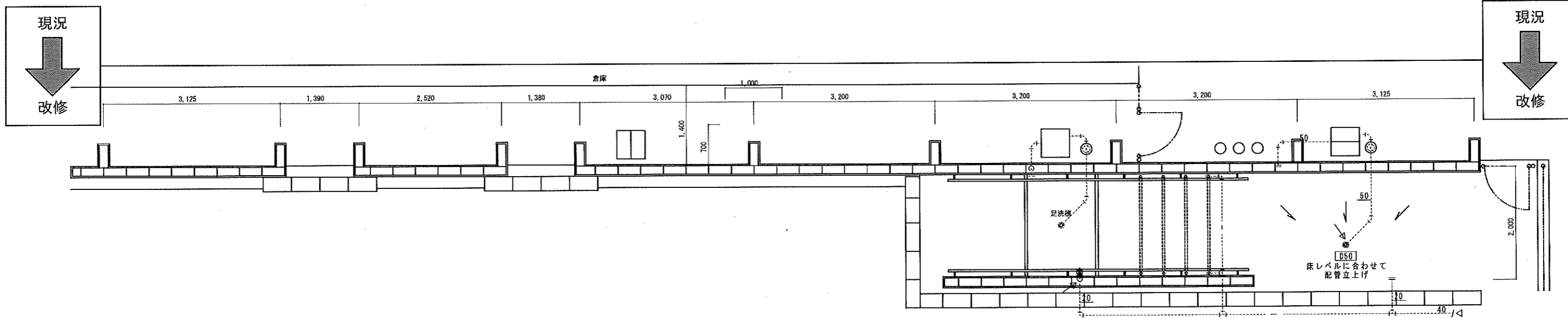
単水栓	2	撤去
-----	---	----

改修② 現況平面詳細図 S = 1 / 50

凡例

——	今回撤去箇所を示す
---	既存箇所を示す

注記) 既設配管サイズ、ルートは参考とする。
 既設埋設配管、今回工事に支障なきは既存放棄とする。
 (既設管水抜き処理の上、管末プラグ止め)
 土間及びブロックはつり撤去は建築工事とする。



改修② 改修平面詳細図 S = 1 / 50

凡例

——	今回改修箇所を示す
---	既存箇所を示す
⊃	既設接続箇所を示す

注記) 既設配管サイズ、ルートは参考とする。

特記	工事名	新居小学校他1校プール施設改修工事			承認	管理建築士	印
	図名	(新居小学校) 平面詳細図② 給排水衛生設備	縮尺	1/50 (A2) 1/71 (A3)	図面番号	M-04	図面提出日

長田小学校

図面リスト

No.	図面名称	No.	図面名称
A-00	図面リスト	M-01	特記仕様書
A-01	特記仕様書1	M-02	図示記号・衛生器具表
A-02	特記仕様書2	M-03	平面詳細図 給排水衛生設備
A-03	特記仕様書3		
A-04	配置図兼仮設計画図・付近見取図		
A-05	平面図		
A-06	平面詳細図		
A-07	立面図・断面詳細図1		
A-08	断面詳細図2		

特記	工事名 新居小学校他1校プール施設改修工事			承認		管理建築士	印
	図名 (長田小学校) 図面リスト	縮尺 NS	図面番号 A-00	図面提出日			

工事特記仕様書（改修）

Table with project details: 1. 工事名称 (Project Name), 2. 工事概要 (Project Overview), 3. 工事内容 (Project Content).

- III. 建築改修工事仕様
1. 共通仕様
2. 特記仕様

Main specification table with columns: 項目 (Item), 特記事項 (Special Notes), 1. 適用基準等 (Applicable Standards), 2. 施工条件 (Construction Conditions), 3. 部分引渡し・部分使用 (Partial Handover/Use), 4. 埋蔵文化財調査 (Buried Cultural Heritage Survey), 5. 発生材の処理等 (Handling of Generated Materials), 6. 建設副産物情報交換システムの利用 (Use of Construction By-product Information Exchange System), 7. 三重県産業廃棄物税 (Shiga Prefecture Industrial Waste Tax), 8. 電気保安技術者 (Electrical Safety Technician), 9. 技能士 (Technician), 10. 施工数量調査 (Construction Quantity Survey).

Table with columns: 項目 (Item), 特記事項 (Special Notes), 1.1 調査のための球状部分の補修 (Repair of Spherical Parts for Investigation), 1.2 建築材料等 (Building Materials), 1.3 化学物質の濃度測定 (Concentration Measurement of Chemical Substances), 1.4 特別な材料の工法 (Construction Methods for Special Materials), 1.5 騒音・振動の防止 (Noise/Vibration Prevention), 1.6 工事写真 (Construction Photos), 1.7 完成図等 (Completion Drawings), 1.8 完成写真 (Completion Photos), 1.9 電子納品 (Electronic Submission), 1.10 設備工事との取合い (Coordination with Equipment Work), 1.11 既存部分等への処置 (Treatment of Existing Parts), 1.12 事故の発生時 (During Accidents), 1.13 市内企業優先使用 (Priority Use for City Companies), 1.14 総合評価方式 (Comprehensive Evaluation Method), 1.15 不当介入を受けた場合の措置 (Measures When Inappropriate Intervention Occurs), 1.16 消防関係の手続き (Fire-Related Procedures), 1.17 主任技術者又は監理技術者の専任を要しない期間 (Periods Where Principal/Supervising Technicians Do Not Require Exclusive Duty).

Table with columns: 項目 (Item), 特記事項 (Special Notes), 2.1 工事の一時中止 (Temporary Work Stoppage), 2.2 建築基準法に基づき定まる風圧及び積雪荷重 (Wind Pressure and Snow Load Determined by Building Standards Act), 2.3 その他 (その他) (Others), 2.4 仮設工事 (Temporary Work), 2.5 仮設箇所 (Temporary Work Locations), 2.6 仮設設備 (Temporary Equipment), 2.7 仮設用水 (Temporary Water Supply), 2.8 仮設電力 (Temporary Electricity), 2.9 交通誘導警備員 (Traffic Guidance Personnel).

Summary table at the bottom with columns: 特記 (Remarks), 工事名 (Project Name), 図名 (Drawing Name), 図番 (Drawing Number), 承認 (Approval), 管理建築士 (Supervising Architect), 甲 (Seal).

4 外壁改修工事

1 施工数量調査

行う ・ 行わない
調査範囲 ・ 全面 ・ ()
調査項目 ・ ひび割れ部 (・ 幅0.2mm ・ 0.2mm~1.0mm ・ 1.0mm以上)
・ はがれ及びはく落部分
・ 浮き部
調査方法 ・ 打診、目視及びクラックスケール等 (・ 足場 ・ ゴンドラ)
報告書 2部 (立断面等に記載、必要に応じて写真添付)

2 改修工法の種類 (4.1.4) (4.1.5)

外壁	種類	改修工法
コンクリート打放し仕上げ外壁	ひび割れ部	・ 樹脂注入工法 ・ Uカットシーリング材充填工法 ・ シール工法
	欠損部	・ 充填工法
モルタル塗り仕上げ外壁	ひび割れ部	・ 樹脂注入工法 ・ Uカットシーリング材充填工法 ・ シール工法
	欠損部	・ 充填工法 ・ モルタル塗替え工法
浮き部	・ アンカーピンニング ・ 部分エポキシ樹脂注入工法 ・ 全面エポキシ樹脂注入工法 ・ 全面ポリマーセメントスラリー注入工法 ・ 注入口付アンカーピンニング ・ 部分エポキシ樹脂注入工法 ・ 全面エポキシ樹脂注入工法 ・ 全面ポリマーセメントスラリー注入工法 ・ 充填工法 ・ モルタル塗替え工法	
	目地	・ 樹脂注入工法 ・ Uカットシーリング材充填工法
タイル張り仕上げ外壁	ひび割れ部	・ 樹脂注入工法 ・ Uカットシーリング材充填工法
	欠損部	・ タイル部分張替え工法 ・ タイル張替え工法
浮き部	・ アンカーピンニング ・ 部分エポキシ樹脂注入工法 ・ 全面エポキシ樹脂注入工法 ・ 全面ポリマーセメントスラリー注入工法 ・ 注入口付アンカーピンニング ・ 部分エポキシ樹脂注入工法 ・ 全面エポキシ樹脂注入工法 ・ 全面ポリマーセメントスラリー注入工法 ・ エポキシ樹脂注入タイル固定工法 ・ タイル部分張替え工法 ・ タイル張替え工法	
	目地	・ 目地ひび割れ部改修工法 ・ 伸縮目地改修工法
塗り仕上げ外壁	新規仕上げ	・ 薄付け仕上塗材塗り ・ 厚付け仕上塗材塗り ・ 複層仕上塗材塗り ・ 可とう形改修用仕上塗材塗り ・ 各種塗料塗り ・ マステック塗材塗り

3 改修工法等 (4.2.2) (a) (4.3.4) (4.4.5) (4.5.5)

・ 樹脂注入工法
種類 ・ 自動式低圧エポキシ樹脂注入工法
注入量 () 注入間隔 ()
・ 手動式エポキシ樹脂注入工法
注入量 () 注入間隔 ()
・ 機械式エポキシ樹脂注入工法
注入量 () 注入間隔 ()
材料 エポキシ樹脂 JIS A6024 (建築補修用注入エポキシ樹脂)
・ 低粘度形 ・ 中粘度形
コア抜き検査 ・ 行う ・ 行わない
・ 抜き取り個数 ()
・ 抜き取り部分補修方法 ()

(4.2.2) (b) (4.3.5) (4.4.6) (4.5.6)

・ Uカットシーリング材充填工法
材料 ・ シーリング用材充填 (・ PU-1 ・ PU-2 ・ ())
・ 可とう性エポキシ樹脂充填
シーリング材の上にポリマーセメントモルタル充填
・ 行う ・ 行わない

(4.2.2) (c) (4.3.6) (4.4.7)

・ シール工法
材料 ・ パテ状エポキシ樹脂
・ 可とう性エポキシ樹脂

(4.2.2) (d) (4.3.7) (4.4.8)

・ 充填工法
材料 ・ エポキシ樹脂モルタル
・ ポリマーセメントモルタル

(4.2.2) (e) (4.4.9)

・ モルタル塗替え工法
材料 ・ 既製目地材の適用及び形状 ()
仕上げ厚 ()

(4.2.2) (a) (4.4.10) (図4.4.1)

・ アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法
アンカーピンの本数 ・ 標準 ・ ()
材料 ・ ステンレス鋼 (SUS304) ・ ()

(4.2.2) (a) (4.4.11) (図4.4.2)

・ アンカーピンニング全面エポキシ樹脂注入工法
アンカーピンの本数及び注入口の数 ・ 標準 ・ ()
材料 ・ ステンレス鋼 (SUS304) ・ ()

(4.2.2) (e) (4.4.12) (図4.4.2)

・ アンカーピンニング全面ポリマーセメントスラリー注入工法
アンカーピンの本数及び注入口の数 ・ 標準 ・ ()
材料 ・ ステンレス鋼 (SUS304) ・ ()

(4.2.2) (f) (4.4.13) (図4.4.3)

・ 注入口付アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法
注入口付アンカーピンの本数 ・ 標準 ・ ()
材料 ・ ステンレス鋼 (SUS304) ・ ()
呼び径 ・ 6mm ・ ()

(4.2.2) (f) (4.4.14) (図4.4.4)

・ 注入口付アンカーピンニング全面エポキシ樹脂注入工法
注入口付アンカーピンの本数及び注入口の数 ・ 標準 ・ ()
材料 ・ ステンレス鋼 (SUS304) ・ ()
呼び径 ・ 6mm ・ ()

(4.2.2) (f) (4.4.15) (図4.4.4)

・ 注入口付アンカーピンニング全面ポリマーセメントスラリー注入工法
注入口付アンカーピンの本数及び注入口の配置 ・ 標準 ・ ()
材料 ・ ポリマーセメントスラリー ()
・ 注入口付アンカーピン (・ ステンレス鋼 (SUS304) ・ ())
呼び径 ・ 6mm ・ ()

(4.2.2) (h) (4.5.7)

・ タイル部分張替え工法
材料 ・ ポリマーセメントモルタル

・ 変成シリコン樹脂、エポキシ樹脂、ポリウレタン樹脂

施工箇所	形状寸法	工法	用途による区分	区分			役物	標準・特注色	耐凍害性有無
				I類(縦溝)	II類(せつ溝)	III類(陶器)			

・ 役物 (・ 一体成形 ・ 接着加工)
・ 試験張り ・ 行う ・ 行わない
・ 見本焼き ・ 行う ・ 行わない

(4.2.2) (h) (4.5.8) (表4.5.4)

タイルの種類	タイルの大きさ	工法	塗り厚(mm)
外装 タイル	小口以上二丁掛け以下	・ 密着張り	5~8
		・ 改良種み上げ張り	4~7
ユニットタイル	・ 25mm角を越え小口未満 ・ 小口未満	・ 改良種張り	下地側 4~6 タイル側 3~4
		・ マスク張り	3~4
		・ モザイクタイル貼り	3~5

(4.5.15)

・ 注入口付アンカーピンニングエポキシ樹脂注入タイル固定工法
注入口付アンカーピンの本数 (本)

(4.2.2) (h) (4.5.16)

・ 目地ひび割れ部改修工法
伸縮調整目地改修工法
伸縮調整目地 (位置 寸法 ×)
検査 シーリング接着性試験
・ 行う (・ 簡易接着性試験 ・ 引張接着性試験)

4 塗り仕上げ (4.2.2) (j) (表4.2.4(その1) (その2))

種類	呼び名	仕上げ形状	工法
薄付け仕上塗材	外装薄塗材E	・ 砂壁状 ・ ゆず肌状	吹付け
		・ 平たん状 ・ 凹凸状 ・ ゆず肌状 ・ さざ波状 ・ 着色骨材砂壁状	こて ローラー 吹付け こて
厚付け仕上塗材	外装厚塗材C	・ 吹放し ・ 凸部処理	吹付け
		・ 平たん状 ・ 凹凸状 ・ ひき起し ・ 掻き落とし	こて
複層仕上塗材	外装厚塗材S1 外装厚塗材E	・ 吹放し ・ 凸部処理	吹付け
		・ 平たん状 ・ 凹凸状 ・ ひき起し	こて ローラー
可とう形改修用仕上塗材	複層塗材E 複層塗材RE 防水形複層塗材E 防水形複層塗材RE	・ ゆず肌状	ローラー
		・ 凸部処理 ・ 凹凸模様	吹付け
可とう形改修用仕上塗材	可とう形改修塗材E 可とう形改修塗材RE 可とう形改修塗材E	・ 平たん状 ・ さざ波状 ・ ゆず肌状	ローラー 吹付け

・ 外装厚塗材Cの上塗材がセメントスタッコ以外の場合
材所要量 (kg/m²)

(4.7.2) (表4.7.1)

・ マステック塗料塗り ・ A種 ・ B種
仕上材塗り ()

(表4.2.5)

樹脂種類	溶媒種類		外 観	
	溶剤系	水系	艶有	艶無
・ アクリル系	・ 溶剤系 ・ 弱溶剤系	・ 水系	・ 艶有 ・ 艶無	・ 艶有 ・ 艶無
・ シリカ系	・ 水系		・ 艶有 ・ 艶無	
・ ポリウレタン系	・ 溶剤系 ・ 弱溶剤系	・ 水系	・ 艶有 ・ 艶無	・ 艶有 ・ 艶無
○ アクリルシリコン系	・ 溶剤系 ・ 弱溶剤系	・ 水系	・ 艶有 ・ 艶無	・ 艶有 ・ 艶無
・ ふっ素系	・ 溶剤系 ・ 弱溶剤系	・ 水系	・ 艶有 ・ 艶無	・ 艶有 ・ 艶無

(注) 艶無及びメタリックは、可とう形復層塗材、防水形復層塗材、及び可とう形改修塗材には適用しない。

(4.6.3) 既存塗膜等の除去及び下地処理

工法	処理範囲
・ サンダー工法	
・ 高圧水洗工法	
・ 塗膜はく離工法	
・ 水洗い工法	
・ テッキブラシ	
○ 高圧ポンプ	

(4.6.4) 下地調整
・ C-1 ・ C-2 ・ CM-2 ・ E ・ ()

(4.6.3) (4.6.4)

1-4 モルタル塗り (6.15.3)

既製目地材 ・ 使用する (形状:)
床の目地 ・ 図示 (図面番号:)

1-5 タイル張り (6.16.2) (6.16.3)

伸縮調整目地
位置 ・ 図示 (図面番号:)

タイルの種類

施工箇所	形状寸法	工法	用途による区分	すべり抵抗性	区分			役物	標準・特注色	耐凍害性有無
					I類(縦溝)	II類(せつ溝)	III類(陶器)			
手洗いシンク	25角				○			○		○

(6.16.3) (b) (1)

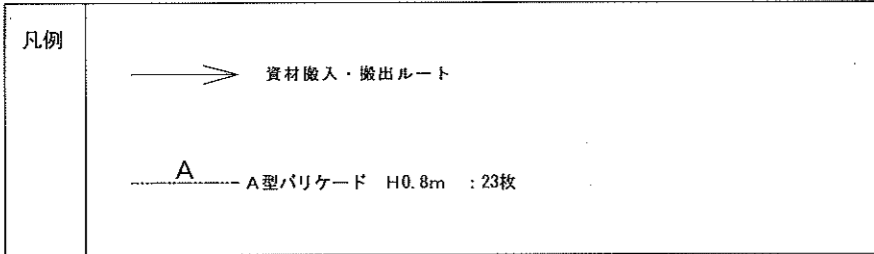
試験張り ・ 行う ・ 行わない
見本焼き ・ 行う ・ 行わない

7 塗装改修工事	1 材料 (7.1.3) (b)	・ 屋内の壁、天井仕上げは防火材料とする。 ・ 次の箇所を除き防火材料とする。(箇所:)
	2 下地調整 (7.2.1~7.2.7) (表7.2.1)~(表7.2.7)	既存塗膜の除去範囲(塗り替えてR種の場合) ・ 図示(図面番号:)
	3 錆止め塗料塗り (7.3.2) (7.3.3) (表7.3.3)~(表7.3.4)	錆止め塗料種別 ・ 亜鉛めっき鋼面 ・ A種 ・ B種 ・ C種 錆止め塗料塗り種別 鉄鋼面 ・ A種 ・ B種 ・ C種 亜鉛めっき鋼面 ・ A種 ・ B種 ・ C種
	4 合成樹脂適合ペイント塗り(SOP) (7.4.2) (7.4.3~7.4.5) (表7.4.1)~(表7.4.3)	塗料種別 ・ 1種 ・ () 種別 下地 ・ 木部 ・ A種 ・ B種 ・ C種 ・ 鉄鋼面 ・ A種 ・ B種 ・ C種 ・ 亜鉛めっき鋼面 ・ A種 ・ B種 ・ C種
	5 クリヤラッカー塗り(OL) (7.5.2) (表7.5.1)	種別 木部 ・ A種 ・ B種
	6 アクリル樹脂系非水分散形塗料(HAD) (7.7.2) (表7.7.1)	種別 ・ A種 ・ B種
	7 耐水性塗料塗り(OP) (7.8.2)~(7.8.4) (表7.8.1)~(表7.8.3)	上塗り等級 ・ 1級(フッ素系) ・ 2級(シリコン系) ・ 3級(ポリアウレン系) 種別 下地 鉄鋼面 ・ A種 ・ B種 ・ C種 亜鉛めっき鋼面 ・ A種 ・ B種 ・ C種 コンクリート面及び コンクリート面及び 押出成形セメント板面 ・ A-1種 ・ A-2種 ・ B-1種 ・ B-2種 ・ C-1種 ・ C-2種
	8 つや合成樹脂エマルジョンペイント塗り(EP-B) (7.9.2)~(7.9.5) (表7.9.1)~(表7.9.4)	種別 下地 コンクリート、モルタル、 プaster、せっこうボード、 その他ボード 木部(屋内) ・ A種 ・ B種 ・ C種 鉄鋼面(屋内) ・ A種 ・ B種 ・ C種 亜鉛めっき鋼面(屋内) ・ A種 ・ B種 ・ C種
	9 合成樹脂エマルジョンペイント塗り(EP) (7.10.2) (表7.10.1)	種別 ・ A種 ・ B種 ・ C種 しみ止め ・ ()
	10 合成樹脂エマルジョン模様塗料塗り(EP-T) (7.11.2) (表7.11.1)	種別 A種 ・ B種 ・ C種
	11 ウレタン樹脂ワニス塗り(UO) (7.12.2) (表7.12.1)	種別 ・ A種 ・ B種
	12 ラッカーエナメル塗り(LE) (7.13.2) (表7.13.1)	種別 ・ A種 ・ B種
	13 木造保護塗料塗り(OP) (7.15.2) (表7.15.1)	種別 ・ A種 ・ B種

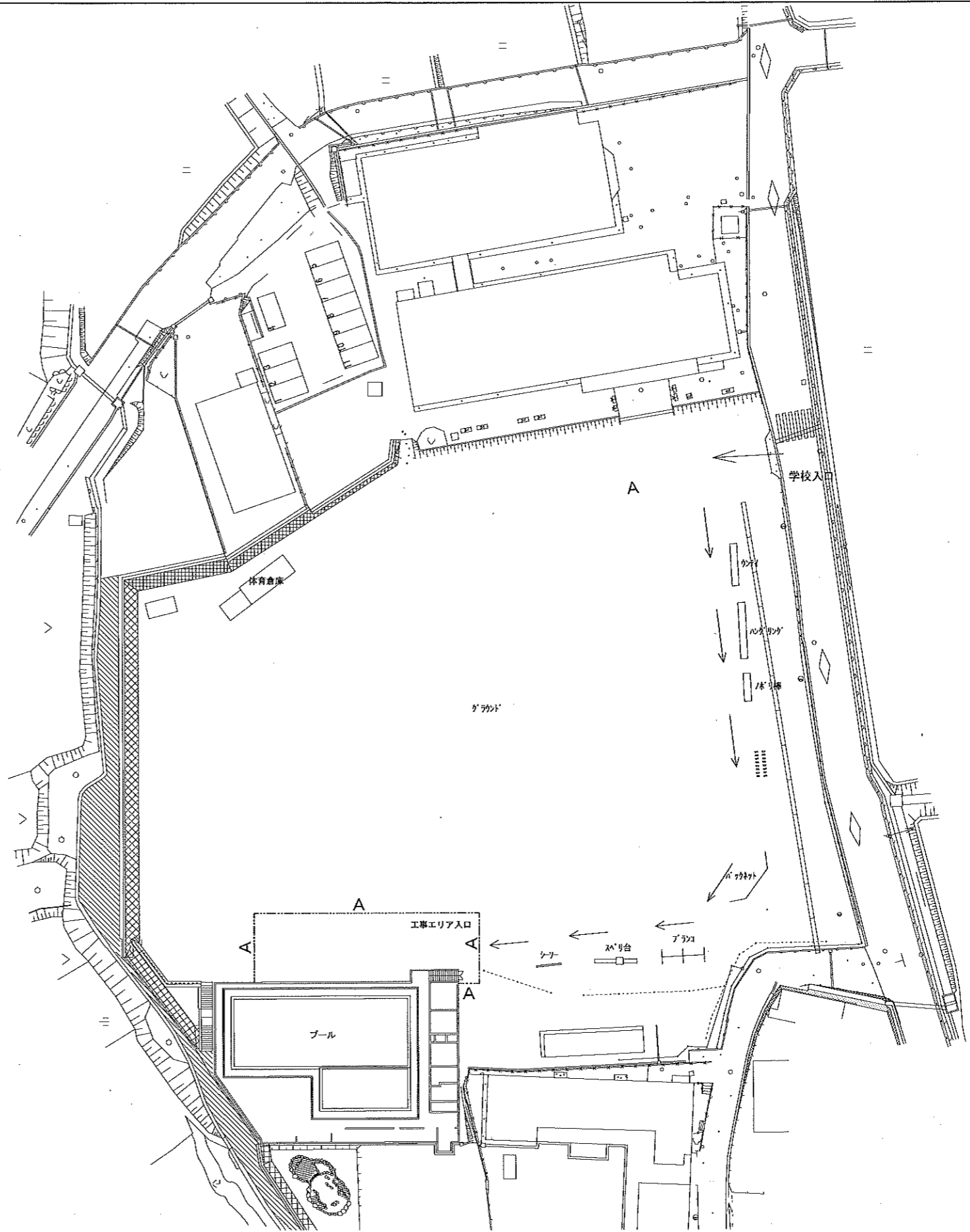
8 5 耐震改修工事 あと施工アンカー工事	(あと施工アンカー) 種類 ① あと施工アンカーの材料 (8.2.4) (表8.2.2) 種類 ① 金属系 セットの方式 ② 本体打込み式(改良型 ③ 従来型) 径及び埋込み深さ ④ 図示(図面番号:) 引張耐力 ④ 図示(図面番号:) せん断耐力 ④ 図示(図面番号:) 接合部の種類・径・長さ ④ 図示(図面番号:) ・ 接着系 カプセル型回転 ・ 打撃式 ・ 有機系 ・ 無機系 径及び埋込み深さ ④ 図示(図面番号:) 引張耐力 ④ 図示(図面番号:) せん断耐力 ④ 図示(図面番号:) アンカー筋の種類 ④ 図示(図面番号:) アンカー筋の折設壁内への定着長さ ④ 図示(図面番号:) あと施工アンカーの性能確認試験 ・ 行う ・ 行わない ② 補強CB鉄筋と溶接検査する。 穿孔 埋込み配管等の探査の方法 ③ 鉄筋探知機(金属探知機)により検査し、鉄筋、配管類の位置に墨出しを行う。 ・ はつり出しによる。 ・ () あと施工アンカーの施工確認試験 ④ 実施する ・ 実施しない 確認試験方法 ④ 改修標準仕様書(8.2.5)による ・ () 確認強度 ・ () ④ ブロック鉄筋と溶接検査すること (場所打ちコンクリート壁の増設工事) 3 シアコネクタ 場所打ちコンクリート壁の打増部に用いる既存部とのシアコネクタ 種類 ・ 金属系あと施工アンカーの異形鉄筋アンカー ・ 接着系あと施工アンカーの異形鉄筋アンカー 径[mm] ・ D10 長さ[mm] ・ 増打厚-40 ・ () 形込み深さ[mm] ・ 5d(d:シアコネクタの径)以上 ・ () 間隔[mm] ・ 500×500 シアコネクタとセパレーターの兼用 ・ 兼用してもよい ・ 兼用しない ・ ()
	⑨ 建築用コンクリートブロック 補強コンクリートブロック 縦壁及び扉 ※ 空洞 ブロック16 ・ 空洞 ブロック16-W (8.2.2) ※ 表 8.3.1 及び下表による (8.3.2) 適用箇所 厚さ(mm) 種別の記号 ① 間仕切壁、地下二重壁、外壁、塀 図示 空洞ブロック 16 ・ 設備配管用ブロック積み 100 空洞ブロック 08
	⑩ 鉄筋工事 標準仕様は、① 公共建築工事標準仕様書(建築工事編)(社団法人公共建築協会) ② 建築工事標準仕様書・同解説 JASS5 ・ 鉄筋はJIS G 3112の規格品を標準とする。 ・ 鉄筋の加工寸法、形状、かぶり厚さ、鉄筋の継手位置、継手の重ね長さ 定着長さは設計図書による。 外観検査 ④ 有 ・ 無 引張試験 ④ 有 ④ 無 超音波深傷試験 ④ 有 ④ 無
⑪ コンクリート工事 (1) コンクリート 標準仕様は、① 公共建築工事標準仕様書(建築工事編)(社団法人公共建築協会) ・ 建築工事標準仕様書・同解説 JASS5 ② 耐久設計基準強度F _d は、短期 ④ 標準 ・ 長期 ・ 超長期 ③ セメントは、JIS R 5210の普通ポルトランドセメントを標準とする。 ④ 調査計画は、工事開始前に工事監理者の確認を得ること。必要に応じて試験練を行う。 ⑤ フレッシュコンクリートの塩化物測定は、原則として工事現場で(財)国土開発技術研究センターの技術評価を受けた測定器を用いて行い、試験結果の記録及び測定器の表示部を1回の測定ごとに撮影した写真(カラー)にて報告する。	

① 調査 ※土間コン、捨てコン等ms n補正不要部を除く	<table border="1"> <tr> <th>項目</th> <th>鉄筋コンクリート</th> <th>無筋コンクリート</th> </tr> <tr> <td>設計基準強度 [N/mm²]</td> <td>24以下</td> <td>18</td> </tr> <tr> <td>単位水量 [kg/m³]</td> <td>185以下</td> <td>185以下</td> </tr> <tr> <td>単位セメント量 [kg/m³]</td> <td>270以上</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>水セメント比 [%]</td> <td>A種: 65以下、B種: 60以下</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>空気量 [%]</td> <td>4.5</td> <td>4.5</td> </tr> <tr> <td>塩化物量 [kg/m³]</td> <td>0.3以下</td> <td>—</td> </tr> </table>	項目	鉄筋コンクリート	無筋コンクリート	設計基準強度 [N/mm ²]	24以下	18	単位水量 [kg/m ³]	185以下	185以下	単位セメント量 [kg/m ³]	270以上	—	水セメント比 [%]	A種: 65以下、B種: 60以下	—	空気量 [%]	4.5	4.5	塩化物量 [kg/m ³]	0.3以下	—
項目	鉄筋コンクリート	無筋コンクリート																				
設計基準強度 [N/mm ²]	24以下	18																				
単位水量 [kg/m ³]	185以下	185以下																				
単位セメント量 [kg/m ³]	270以上	—																				
水セメント比 [%]	A種: 65以下、B種: 60以下	—																				
空気量 [%]	4.5	4.5																				
塩化物量 [kg/m ³]	0.3以下	—																				
捨てコンクリート FC18N/mm ² SL-15 土間コンクリート FC21N/mm ² SL-18 基礎コンクリート FC24N/mm ² SL-18 上部コンクリート FC24N/mm ² SL-18																						

- 留意事項—
- ※1) 工事車両の進入は、8:40以降。
 - ※2) 休み時間(10:25~10:45)・昼休み・掃除時間(13:05~14:30)は、工事車両の通行はしない。
 - ※3) 校内は最徐行(10km/h以下)にて工事車両等は移動のこと。
 - ※4) 仮設計画や作業員の駐車スペースは免注則と協議の上、決定すること。
 - ※5) 交通誘導員を配置している際は、学校入り口から工事エリア入り口まで交通誘導員が工事車両を誘導すること。
 - ※6) 必要に応じて適切な路面等の養生を行うこと。

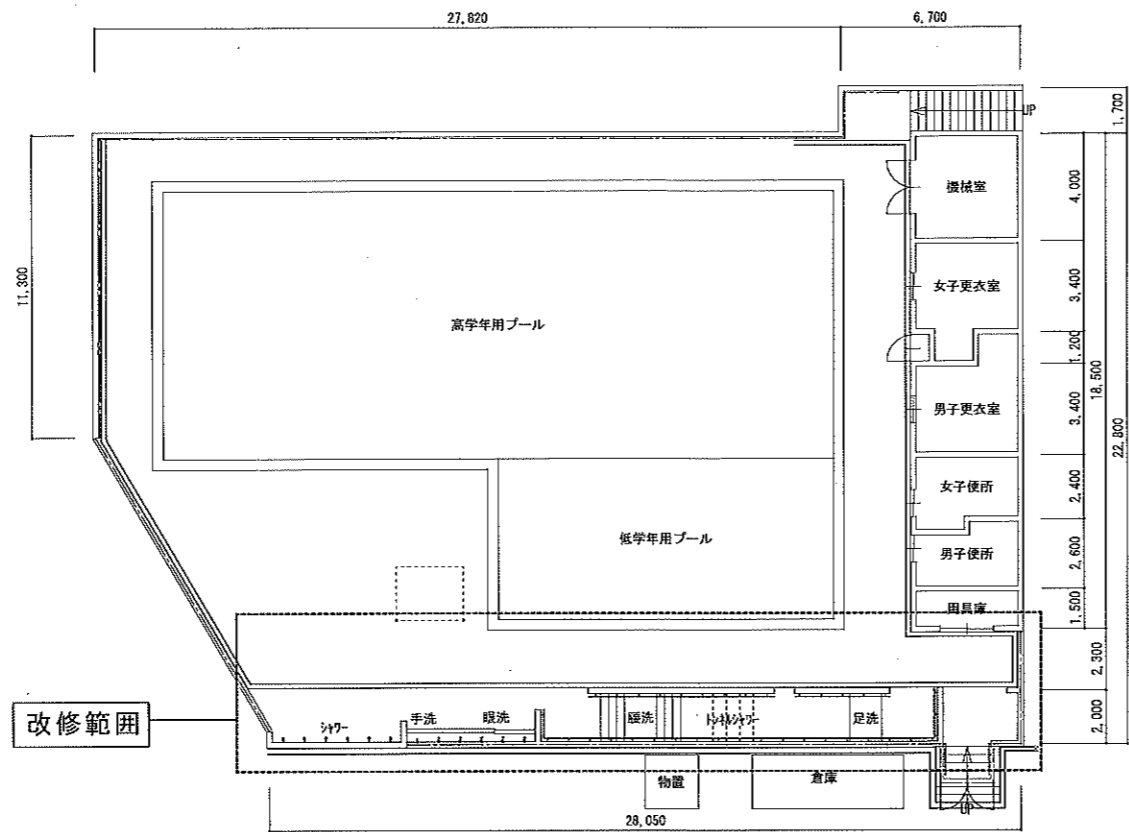


付近見取図



配置図兼仮設計画図 S=1/500

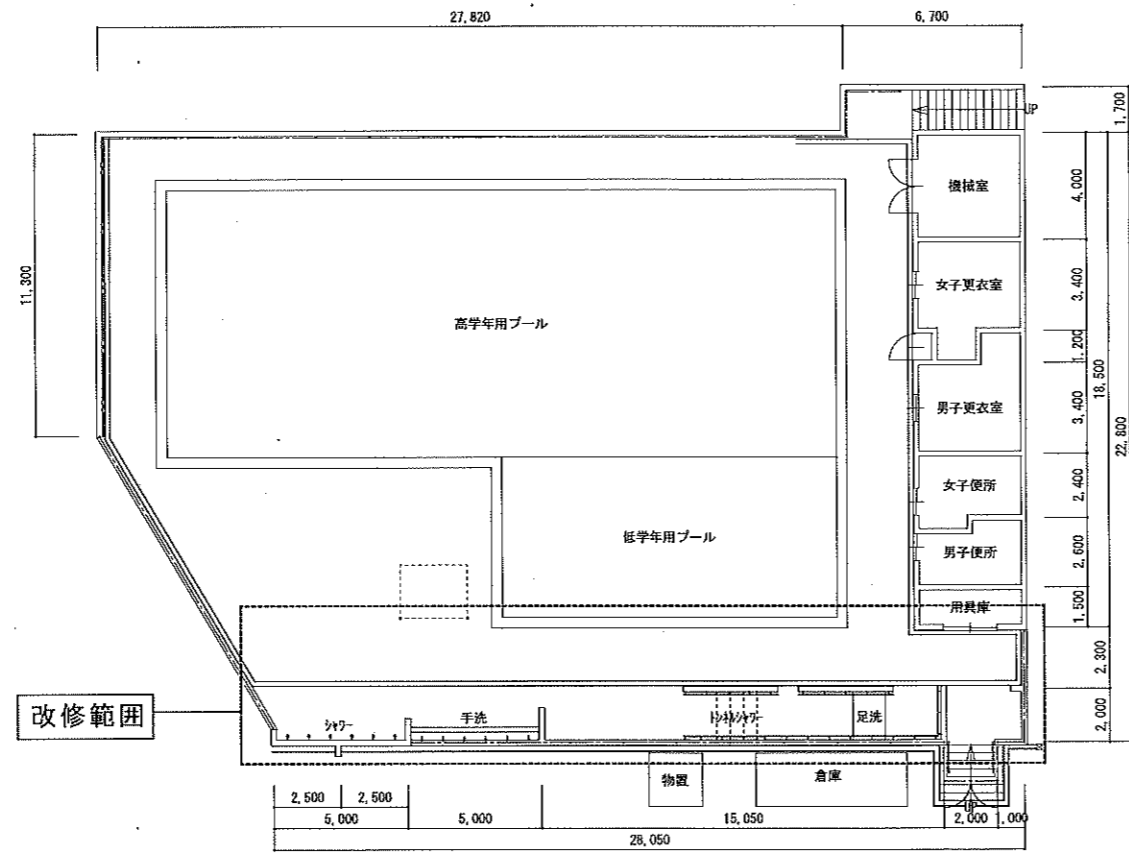
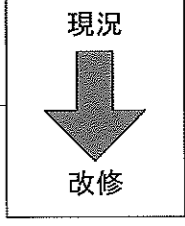
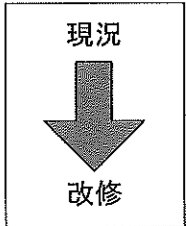
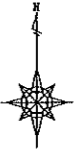
特記	工事名	新居小学校他1校プール施設改修工事			承認	管理建設士	印
	図名	(長田小学校) 配置図兼仮設計画図・付近見取図	縮尺	1/500 (A2) 1/705 (A3)	図面番号	A-04	図面提出日



現況平面図 S = 1 / 200

撤去概要

- ・改修範囲内の既存ブロック塀の撤去。
- ・シャワー・手洗い・眼洗い・手摺の撤去。
- ・控え壁の新設に伴う土間コンクリートの撤去。

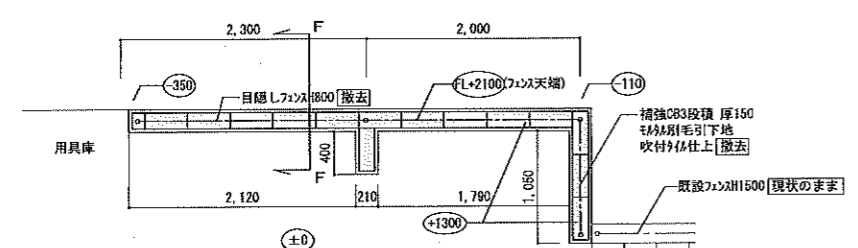
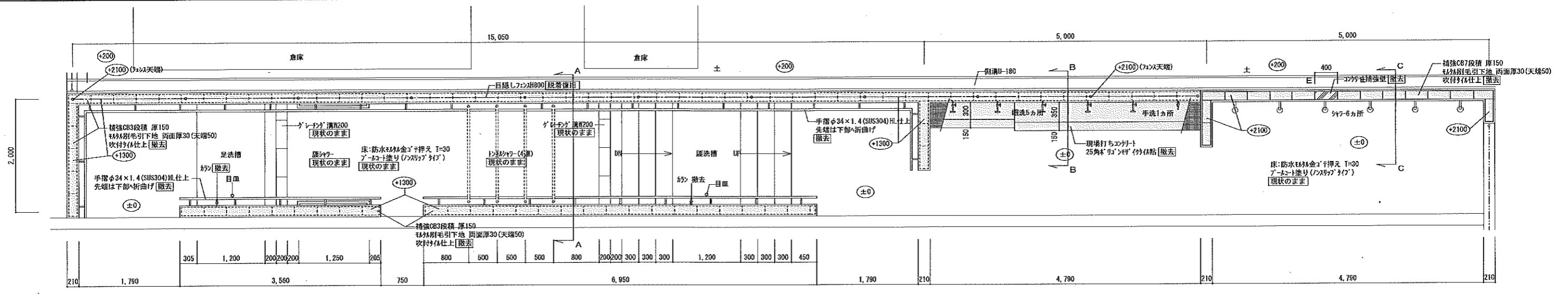


改修平面図 S = 1 / 200

改修概要

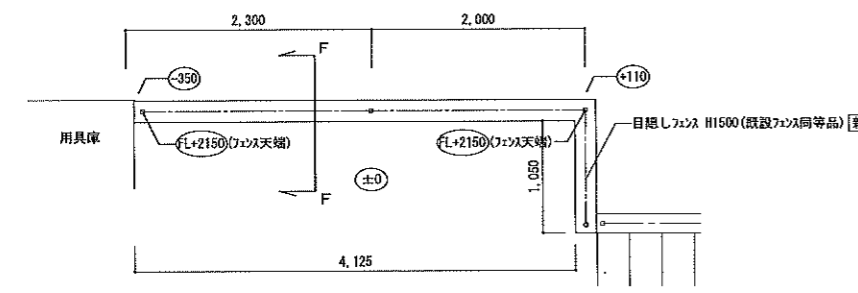
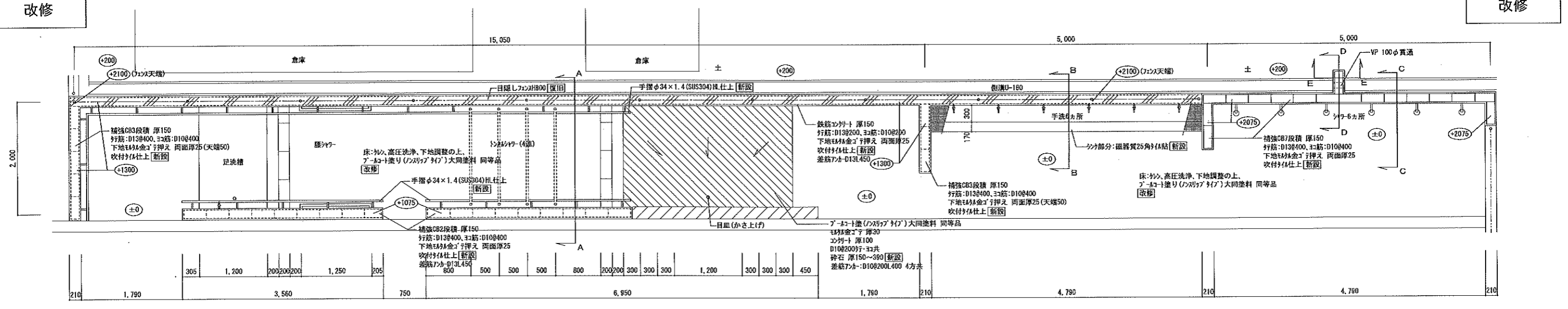
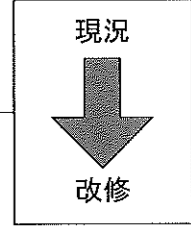
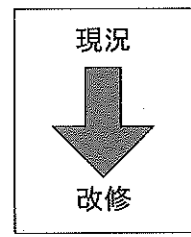
- ・改修範囲内の既存ブロック塀の新設
- ・シャワー・手洗い・手摺の新設。
- ・控え壁の新設と、それに伴う土間コンクリートの復旧。
- ・腰洗い槽の埋め戻し。

特記	工事名	新居小学校他1校プール施設改修工事			承認	管理建築士	甲
	図名	(長田小学校) 平面図	縮尺	1/200 (A2) 1/282 (A3)			
					図面提出日		



現況平面詳細図 S = 1 / 50

- < 凡例 >
- 撤去範囲を示す。
 - F.L.表記



改修平面詳細図 S = 1 / 50

- < 凡例 >
- 埋め戻し範囲を示す。
 - 既存30の上、'フェンス' (fence) 大同塗料 同等品
 - F.L.表記

特記	工事名 新居小学校他1校プール施設改修工事			承認	管理建築士	印
	図名 (長田小学校) 平面詳細図	縮尺 1/50 (A2) 1/71 (A3)	図面番号 A-06			
図面提出日						

機械設備工事特記仕様 (○印を付けたものを適用する。)		工事写真	給水設備	換気設備
建築概要 工事名称 新居小学校他1校プール施設改修工事(長田小学校) 工事場所 伊賀市長田 市内 建物名称 構造 階数 延面積(m ²) 備考 小学校 RC造 小学校		工事写真の撮り方/建築、及び/建築設備(建設大臣官庁官庁管轄部)に併用撮影する。 電子納品とし、次のものを提出する。 ○部数は「16電子納品」を参照 全写真のサルネームを印刷したもの(M4版用紙)1部 代表的写真を抽出し、L版相当サイズ(M4版用紙に1ページあたり3枚)で印刷したもの1部 完成写真 デジタルカメラで撮影し、全てL版相当サイズで印刷する。(M4版用紙に1ページあたり3枚)1部 箇所数は 外観4面 各室2面 程度とする。 規定の箇所数が確保できない場合には、監督員と協議すること。 アルバム1部(大きさ335mm×280mm程度)	給水方式 屋内・分岐方式・合流方式 屋外○分岐方式・合流方式 汚水・下水管・浄化槽・合併処理槽・既設併 給排水・下水管・合併処理槽○併用又は河川・既設併 雨水・下水管・調整池○併用又は河川・既設併 配管材料 屋内汚水管 ・ラバージョイント形排水継ぎ管 ・コーティング鋼管(可とう継手又はMD継手) ・硬質塩化ビニル管(VP) ・耐火塩化ビニル管(VP) ・耐火塩化ビニル管(HI) 給排水管 ・配管用炭素鋼管(白)機械継り ・コーティング鋼管(可とう継手又はMD継手) ・硬質塩化ビニル管(VP) ・耐火塩化ビニル管(VP)・耐火塩化ビニル管(HI) 通気管 ・配管用炭素鋼管(白) ・硬質塩化ビニル管(VP) ・耐火塩化ビニル管(VP) 屋外排水管 ・連心鉄筋コンクリート管(外径管・2種・1種) ○硬質塩化ビニル管(VP) ・硬質塩化ビニル管(VU)150A以上 その他 ・樹 ・下水納付金等 ・その他	換気設備 ・設計空気条件(指示なきは建設省建築設備設計基準による) 外気夏季℃96 冬季℃96 室内夏季26℃96 冬季22℃96 一般システムの湿度は成行きとする。 ・熱源機器 ・温水発生機・チラー(空冷HP・水冷HP・水冷) ・温水ボイラー・水蓄熱 ・放熱器 ・空冷HPパッケージ・ガスHPパッケージ・FOU・AHU ・その他 配管設備 ・配管方式 ・冷媒配管 ・冷温水配管 ・冷却水配管 ・温水配管 ・配管材料 ・冷媒管 ・冷媒用鋼管 ・冷媒用炭素鋼管 ・冷温水管 ・配管用炭素鋼管(白) ・耐火性硬質塩化ビニル管(VP) ・冷水・温水管 ・配管用炭素鋼管(白) ・耐火性硬質塩化ビニル管(VP) ・内外面耐火性硬質塩化ビニル管(VP) ・配管用炭素鋼管(白) ・塩化ビニル管(VP) ・断熱ホース ・耐火塩化ビニル管(VP) ・油管 ・配管用炭素鋼管(黒) ・耐火塩化ビニル管(VP) ・蒸気管 ・配管用炭素鋼管(黒) 排煙設備 ・JIS 5Kg f/cm JIS 10Kg f/cm ・風速材質 ・呼び径100以上の者は管員と協議のうえパナフレネを使用 ・排煙口の形式 ・普通鋼板(厚1.6mm) ・天井取付(スリット形・スイング形) ・排煙口開放装置 ・手動 ・手動及び遠隔操作可能なもの ・復帰方法 ・遠隔形 ・手元形 ・排煙風量測定 ・建築設備定期検査業務指導書(日本建築設備安全センター)の排煙風量の検査方式に準ずる。 ・その他 自動制御設備 ・制御方式 ・電子 ・電気 ・空気 ・その他
一般事項 適用仕様書 ・日本建築家協会編「建築設備工事仕様書」 ・空気調和・衛生工学会規格「空気調和・衛生設備工事仕様書」 ○国土交通大臣官庁官庁管轄部「機械設備工事共通仕様書」平成28年度版 優先順位 1. 現場説明事項 質疑応答書 2. 本特記仕様書 3. 設計図書 4. 工事共通仕様書 申請手続 工事に伴う関係官公署、ガス会社への調印手続きは請負者がこれを代行し、必要経費も本工事に含むものとする。 疑義 設計図書の誤記、記載漏れ、又図面上納り不明な事に起因する問題点、疑義についてはその都度監督員と協議すること。 変更 設計図面に明記なくとも、外観上、機能上又は法規上当然必要と認められるものについては、本工事に含むものとする。 完成図書 工事完成の上は各種の試験、検査を受け許可書証、成績表、工事写真、日報、材料検収簿、完成写真、竣工図、取扱説明書等とりまとめ提出すること。 耐震基準 日本建築センター編「建築設備耐震設計・施工指針」によること。		工事種別 (○印を付けたものを適用する。) 屋外() 屋内() 屋内() 給排水衛生設備 ・給水設備 ○ ・排水設備 ○ ・衛生器具設備 ○ ・給湯設備 ・ガス設備 ・消火設備 ・ろ過設備 ・浄化槽設備 空調設備 ・機器設備 ・配管設備 ・ダクト設備 ・換気設備 ・排煙設備 ・自動制御設備 給水設備 ○給水方式 ・水道直結式 ・高架水槽式(市水) ・圧送方式(圧力タンク 回転数制御) ・受水槽 本体・FRP製 ・一体型(複合板・単板) ・パネル型(複合板・単板) ・ステンレス製 ・一体型 ・パネル型 ・鋼板 ・一体型 ・パネル型 ・高置水槽 本体・FRP製 ・一体型(複合板・単板) ・パネル型(複合板・単板) ・ステンレス製 ・一体型 ・パネル型 ○配管材料 ・ライニング鋼管(一般部)(VAO VB・VD・PA・PB・PD) ・ステンレス鋼管(SUS304) 屋内一般 ・屋内増築(VD・PD) ・塩化ビニル管(地中部・暗渠) (HI・VP・ポリ管) ・さや管工法(架橋ポリ管(被覆) 居室立上がり部) 直結部分 ○水連業者指定品 2 直結部分 JIS 5Kg f/cm JIS 10Kg f/cm ・貸与品 ・買取り(私設) ○水栓 ○水栓 ○水栓は節水コマとする。 ・要(別添工事・本工事) 不要 ・その他 ろ過設備 ・方式 ・砂 ・フィルター ・制御 ・全自動 ・手動 ・配管材料 ・配管用炭素鋼管(白) ・耐火性硬質塩化ビニル管(VP) ・耐火性硬質塩化ビニル管(HI) ・耐火性硬質塩化ビニル管(熱交換器用) ・その他 浄化槽設備 ・方式・容量 ・単独 ・合併 算定人員30人槽 処理水量 m ³ /日 ・材質 ・FRP製 ・コンクリート既設管 ・RC躯体 ・構造スラブ ・要 ・不要 ・その他		
特記事項 ○地中埋設の給水、ガス、消火等は埋設表示坑、埋設シートを布設する。 ○重量接合及び器具は吊りポルトにて壁面に取り付けること。 ○換気及び配管等は、地震時に水平移動、転倒、落下などが生じないように「建築設備耐震設計指針」により施工する。 ○防火区画貫通部分は、日本建築センターの性能評価を受けた工法に基づき材料を使用すること。 ○建物導入配管(給水、ガス、消火)は充分な可換性を有する変位吸収配管施工をおこなう。 ○水密を要する部分を除きスリッピーに用いる材料は、紙張等の型枠を使用することができる。 ○給水管を除く管の埋設深さは、一般敷地300mm以上、車道通路部600mm以上とする。 ○振動の伝播を防ぐ必要のある配管及び強制循環する水配管で管径65φ以上の配管には、防振吊り金物又は防振支持金物を設けるものとする。 ○既設コンクリート床、壁などの配管貫通部の穴明けは、原則としてダイヤモンド加工による。 ○土間配管は土間筋に吊り下げるなど埋設配管を保持するようにする。 ○屋外露出及び多湿箇所(トレンチピット等)の配管架台は、SUS又はSS溶融亜鉛メッキ仕上げとする。 ○配管途中、要所にはフランジ接続箇所を設置し、取り外しを容易にする。 ○系統が分かるように、必要箇所(機械室、PS内等)に文字書き・矢印記入・バルブ札取付をおこなう。 ○機器・配管・支持金物において、異種金属が接触する部分には、絶縁処理をおこなう。 ○配管に空気が滞留する恐れのある箇所には、エア抜き弁を設置する。 ○屋外機器設置基礎のアンカーボルトは、ケミカルアンカー(ステンレス製)とする。 ○工事着工までに諸官庁へ工事範囲、工事期間の詳細を報告する。 ○本工事に必要な工事用電力、水及び調子手続きなどの費用はすべて請負者の負担とする。		ガス設備 ・ガスの種別 ・都市ガス(種別 13A 発熱量11,000 kcal/m ³) ・供給事業者名(東邦ガス) ・液化石油ガス(発熱量 12,000 kcal/kg) ・配管材料 ・配管用炭素鋼管(白) ・ビニル被覆鋼管(地中埋設部) ・ポリエチレン管(屋外地中埋設部) ・都市ガスの場合、供給事業者の仕様による。 ・別添 ・本工事 ・ボイラ(10Kg・20・50Kgバルク)本数(545本) 転回防止鎖等(本工事・別添工事) ・要(電気式・温水) 不要 ・貸与品 ・買取品 ・本工事 ・別添工事 ・一般形 ・自動遮断弁付 ・要(*別添工事・本工事) 不要 ・その他 消火設備 消火設備の種類 ・屋内消火栓 ・屋外消火栓 ・スプリンクラー消火 ・特定施設SP ・粉末消火 ・連結給水管 ・移動粉末消火・アップロード消火 ・粉末強化液 ・揮発設備 ・消火器 ・002ガス消火設備 ・広範囲2号消火栓 ・屋内消火栓箱 ・屋外消火栓箱 ・HB-21 ・HB-22 ・HB-11A・B ・HB-12A・B ・鋼管(JIS G3452・JIS G3458等) ・消火栓弁 10Kg f/cm ・消火器 二酸化炭素消火器15号(工事着工時に設置) ・その他 消火栓箱は指定色塗付塗装とする。 ろ過設備 ・方式 ・砂 ・フィルター ・制御 ・全自動 ・手動 ・配管材料 ・配管用炭素鋼管(白) ・耐火性硬質塩化ビニル管(VP) ・耐火性硬質塩化ビニル管(HI) ・耐火性硬質塩化ビニル管(熱交換器用) ・その他 浄化槽設備 ・方式・容量 ・単独 ・合併 算定人員30人槽 処理水量 m ³ /日 ・材質 ・FRP製 ・コンクリート既設管 ・RC躯体 ・構造スラブ ・要 ・不要 ・その他		
共通事項 保溫工事 ・保溫施工範囲は共通仕様書による。 ○保溫施工種別 ・共通仕様書による。 ○下表による。(但し機器、煙道は共通仕様書による) 屋内露出 グラスウール保溫筒 合成樹脂製カバー 屋外露出 多湿箇所 PS 保溫筒 SUS鉄板仕上げ 天井・PS内 グラスウール保溫筒 アルミガラスクロス 床下・階間内 PS 保溫筒 アルミガラスクロス ○保溫材の厚さ ・共通仕様書による。 ○下表による(但し機器、煙道は共通仕様書による) 80A以下 20mm 給排水管 給湯管 温水管 ドレン管 100-150A 25mm 消火管(但し屋外のみ) 200A以上 40mm 25A以下 30mm 冷水管 冷温水管 32-200A 40mm 250A以上 50mm ・SUSラッキング仕上げとする。 ・化粧ケース仕上げとする。(屋内)		メーカリスト 下記リスト以外の選定は委員の承認を必要とする。 分類 資料名 指定メーカ 管 継手共 水マーク表示品WSP規格品HASS表示品 JISマーク表示品 他規格品 青銅弁・鋼鉄弁 JISマーク表示品 保溫材 RW、GW保溫材 JISマーク表示品 ポンプ類 評価事業者名による 衛生器具 衛生陶器・水栓 JISマーク表示品(規格以外) LIXIL 東陶機器 水栓 FRP製 積水プラント 日立化成 プリジストン 三菱樹脂 鉄パネル 鋼板(公団型) 協和コンクリート 桑名工業 昭和工業 ネオジオ 丸八産業 排水金物 オオタケ カネソウ ダイシロ 中部 南濃 福西 ホクキャスト 鋼鉄製 鋼製(公団型) 評価事業者名による 黄水栓 認知時計 金門製作所 リコー積層 ガス器具 ガス配管器具 伊藤工業 桂積層 藤井合金 富士工機 ガス給湯器(都市ガス) ガス供給者の承認する製造者の製品 ガス給湯器(LPG) 「ガス事業法」「液化石油ガスの保安の確保及び取引の適正化に関する法律」に基づき、 厨房器具 法令による証書付したもの アイホー コメットカトウ サンキュー トーヨー 日本調理機 フジマック ガス管類 ガス管システム 金門製作所 富士工機 富士電機 パナソニック 矢崎産業 減音器 減音器 三協 三連 サンエイ 伊 伊アパル 消火設備 立売製所 岸本産業 北清製作所 村上製作所 横井製作所 日本消防検定協会の合格表示品 消火栓類 消火栓ホース ノーミ ニットン 日本ドライケミカル 能美防炎 ホーチキ スプリンクラー・泡消火 川重防炎 セコム 日陽 林テクノス 日信防炎 ニットン 能美防炎 特殊ガス設備 合併浄化槽(RC造) INAX 西原本 日本理化 併用・単独浄化槽 (FRP製)建設大臣官庁指定品 汚水処理 クリントイレ TRAX 積水化学 本邦 日立化成 パナソニック ロンシール トラップ グリス・ガソリントラップ ガソネット 兼本 下田工業 積水プラントシステム 特殊ガス設備 川重防炎 セントラルユニ 田中製作所 テイザン 製缶類 製缶類・除交換 島倉製所 島倉製所 ベルテクノ ホーコス 森松工業 温水機 真空式温水機 昭和製鉄 高尾製鉄所 タクマ 前田製鉄所 三浦 電気温水機 電気温水機 昭和製鉄 高尾製鉄所 タクマ 前田製鉄所 三浦 製缶類 製缶類 昭和製鉄 高尾製鉄所 タクマ 前田製鉄所 三浦 セクショナルボイラー 昭和製鉄 高尾製鉄所 タクマ 前田製鉄所 三浦 小型ボイラー 昭和製鉄 高尾製鉄所 タクマ 前田製鉄所 三浦 冷水発生機(50RT) 在阪製作所 川崎工業 クボタ ダイキン工業 日立製作所 三菱重工業 小型冷水発生機 在阪製作所 三洋電機 東芝 日立製作所 パナソニック 矢崎産業 冷凍機 在阪製作所 川崎工業 クボタ ダイキン工業 日立製作所 三菱重工業 三菱電機 パッケージ型空調機 評価事業者名による ユニツト型空調機 評価事業者名による ファンコイルユニット 評価事業者名による ファンコンベクター 評価事業者名による 防塵装置 防塵装置 防塵装置 防塵装置 防塵装置 加湿器 加湿器 加湿器 加湿器 加湿器 送風機 送風機 送風機 送風機 送風機 換気扇 換気扇 換気扇 換気扇 換気扇 全熱交換器 全熱交換器 全熱交換器 全熱交換器 全熱交換器 エアフィルター 評価事業者名による 吹出口・吸込口 空研工業 新晃工業 トーキン 鉄興業 風量ユニットCAV、VAV エアコンク クボタ 新晃工業 東プレ 至鉛鉄板 JIS規格品 ステンレス鋼板 ステンレス鋼板 大阪ラセン管工業 栗本 栗本 富士空調工業 フジモリ産業 フレキダクト フレキダクト アライ工業 オークラ 栗本 自動制御 自動制御機器 トキメックラディスキア 山武ハネウェル 横河ジョンソンコントロールズ		

特記	工事名	新居小学校他1校プール施設改修工事	承認	管理建築士	印
	署名	(長田小学校) 特記仕様書	NS	M-01	
	図面番号				
	図面種類				
	図面提出日				

図 示 記 号

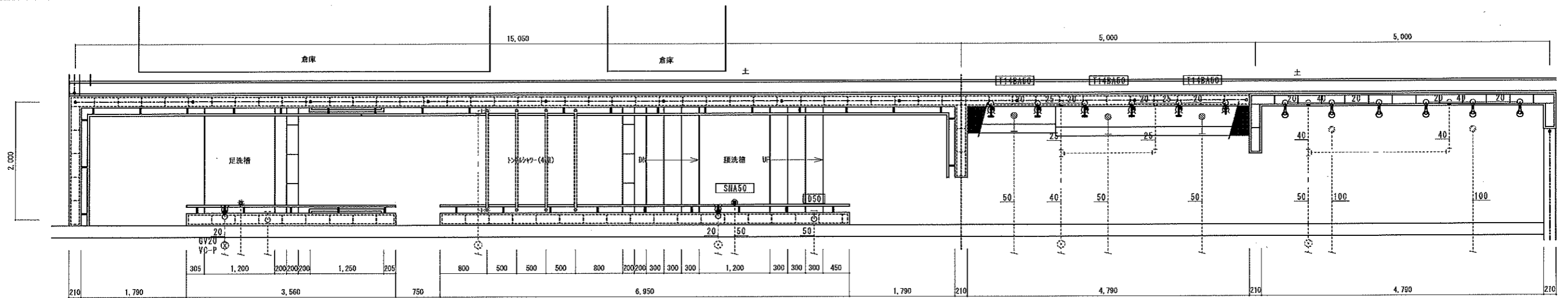
記 号	名 称
—————	給 水 管
—————	排 水 管
○	給 水 栓
▽ ⊠ ⊗	弁 類
⊖	床 上 掃 除 口
⊙	排 水 金 物

衛 生 器 具 表

名 称	品 番	附 属 品	外 部	合 計
横水栓	LF-7R-13	吐水口回転形	7	7
固定シャワー	BF-4R	BF-2S-13(埋込形止水栓)	6	6

*衛生器具型番は参考とし、監督員の指示（器具の調整等）に従うものとする。

特 記	工事名 新居小学校他1校プール施設改修工事			承認		管理建築士	印
	図名 (長田小学校) 図示記号・衛生器具表			図尺 NS	図番 M-02		



洗場 既存機器表

単水栓	2	撤去
-----	---	----

外部 既存機器表

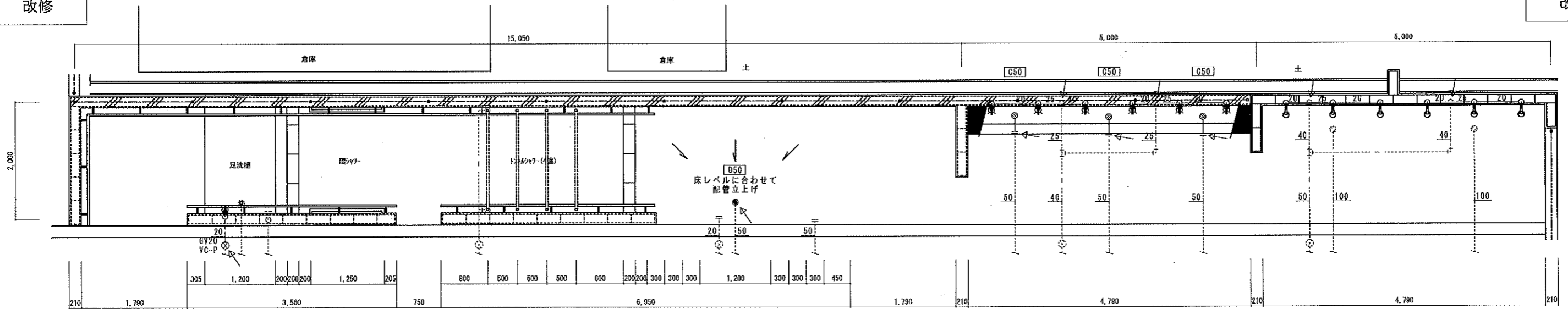
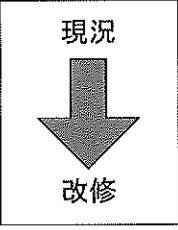
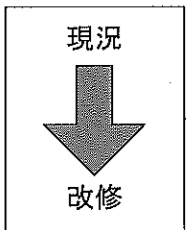
単水栓	1	撤去
洗眼水栓	5	撤去
シャワー水栓	6	撤去

凡例

——	今回撤去箇所を示す
---	既存箇所を示す

注記) 既設配管サイズ、ルートは参考とする。
 既設埋設配管、今回工事に支障なきは既存放棄とする。
 (既設管水抜き処理の上、管末プラグ止め)
 土間及びブロックはつり撤去は建築工事とする。

現況平面詳細図 S = 1 / 50



凡例

——	今回改修箇所を示す
---	既存箇所を示す
↗	既設接続箇所を示す

注記) 既設配管サイズ、ルートは参考とする。
 土間及びブロック復旧は建築工事とする。

改修平面詳細図 S = 1 / 50

特記	工事名	新居小学校他1校プール施設改修工事			承認	管理建築士	印
	図名	(長田小学校) 平面詳細図 給排水衛生設備	縮尺	1/50 (A2) 1/71 (A3)			
	図面提出日						